

いわき市農林水産部農政流通課 御中

令和4年度  
いわき産農産物の風評被害に関する  
アンケート調査 結果報告書

2023年3月10日(金)  
株式会社電通東日本



・ 調査概要	3
・ 対象者プロフィール	4
・ サマリー	6
・ 過去の調査との比較	8
・ 調査結果詳細	
食品購入時重視点-居住地別-	13
食品購入時重視点-最年少同居家族別-	14
放射性物質についての考え-居住地別-	15
放射性物質についての考え-最年少同居家族別-	16
放射線物質について現在気にしていること-自由回答抜粋-	17
放射線物質について以前気にしていたこと-自由回答抜粋-	18
放射線物質を気にしなくなったきっかけ-居住地別-	19
放射線物質を気にしなくなったきっかけ-最年少同居家族別-	20
いわき市産の食品購入についての考え-居住地別-	21
いわき市産の食品購入についての考え-最年少同居家族別-	22
福島県いわき産の食品（農作物）非購入理由-自由回答抜粋-	23
広告認知①いわきのめぐみPR動画-居住地別-	24
広告認知①いわきのめぐみPR動画-最年少同居家族別-	25
広告認知経路①いわきのめぐみPR動画-居住地別-	26
広告の印象①いわきのめぐみPR動画-居住地別-	27
広告認知②アグリ☆ファイブコラボダンス動画-居住地別-	28
広告認知②アグリ☆ファイブコラボダンス動画-最年少同居家族別-	29
広告認知経路②アグリ☆ファイブコラボダンス動画-居住地別-	30
広告の印象②アグリ☆ファイブコラボダンス動画-居住地別-	31
広告認知③あばれる君キャンプ飯動画-居住地別-	32
広告認知③あばれる君キャンプ飯動画-最年少同居家族別-	33
広告認知経路③あばれる君キャンプ飯動画-居住地別-	34
広告の印象③あばれる君キャンプ飯動画-居住地別-	35
安全面を考慮した農作物の購入についての考え-居住地別-	36
安全面を考慮した農作物の購入についての考え-最年少同居家族別-	37
福島産忌避食材-居住地別-	38
福島産忌避食材-最年少同居家族別-	39
海外産忌避食材-居住地別-	40
海外産忌避食材-最年少同居家族別-	41
海外産食材忌避対象国-居住地別-	42
海外産食材忌避対象国-最年少同居家族別-	43
放射性物質に対する認知事項・意識-居住地別-	44
放射性物質に対する認知事項・意識-最年少同居家族別-	45
いわき市食品への風評被害払拭に必要と思う情報-居住地別-	46
いわき市食品への風評被害払拭に必要と思う情報-最年少同居家族別-	47
いわき市食品への風評被害払拭に必要と思う活動-居住地別-	48
いわき市食品への風評被害払拭に必要と思う活動-最年少同居家族別-	49
いわき市食品への風評被害に対する意見-自由回答抜粋-	50
いわきといえばこれ！という農産物-居住地別-	51
いわきといえばこれ！で選んだ理由-自由回答抜粋-	52



## 調査目的

いわき産農林水産物の風評被害対策としてのプロモーション施策を継続的に実行するにあたり、市内外におけるいわき産、農林水産物のイメージや購買実態、購入障壁などの現状を明らかにしたうえで、効果的なプロモーション施策実行の参考意見を収集し、活用する目的で調査を実施。

## 対象者条件

首都圏（1都3県）、福島県（いわき市／いわき市以外）に居住する20～69歳男女個人

## サンプル構成

居住地	人数
福島県いわき市居住者	200
福島県いわき市以外居住者	200
首都圏（1都3県）居住者	200

## 設問数

20問

## 調査手法

インターネット調査（パソコン・スマートフォン等を利用した調査）

## 調査実施時期

2023年2月14日(火)～2023年2月16日(木)

## 調査機関

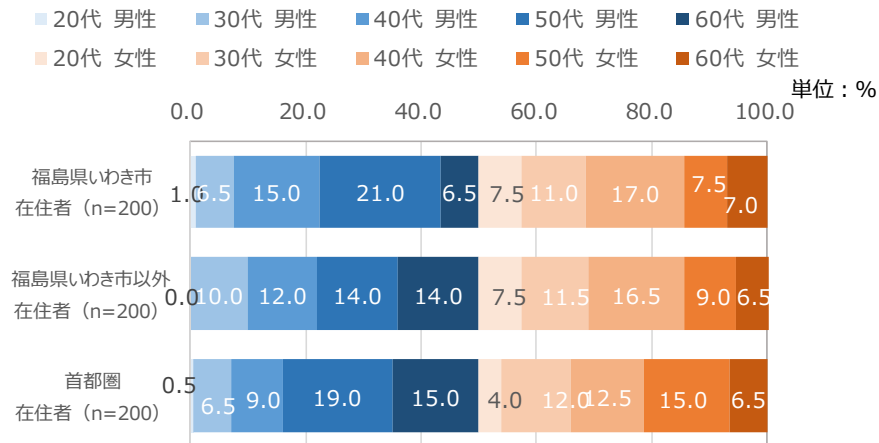
株式会社アスマーク （一社）日本マーケティング・リサーチ協会正会員No. 20158



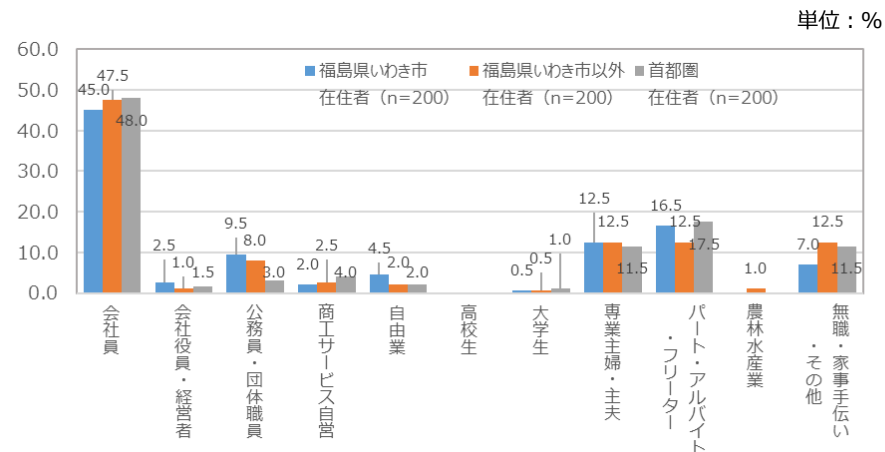
# 対象者プロフィール

4

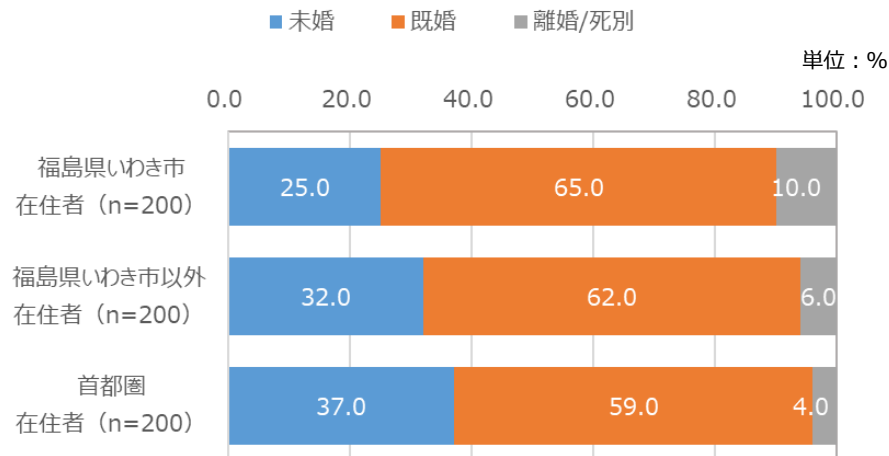
## 性年代



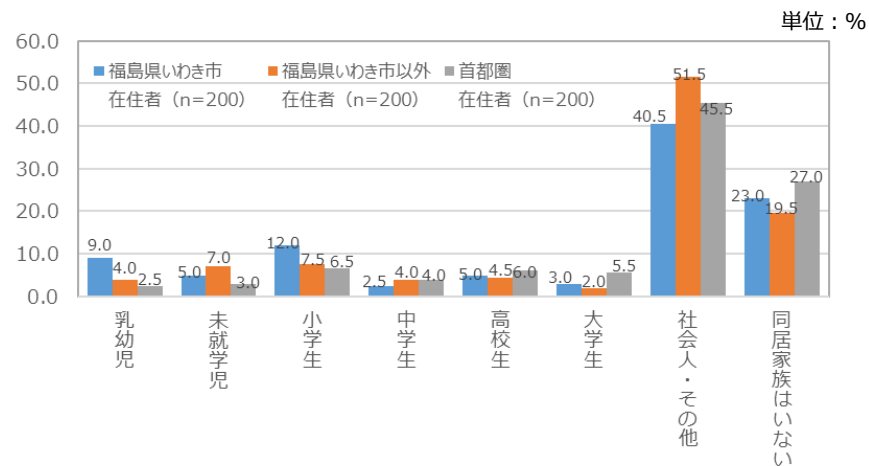
## 職業



## 未婚



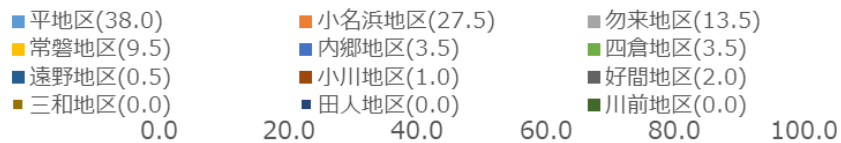
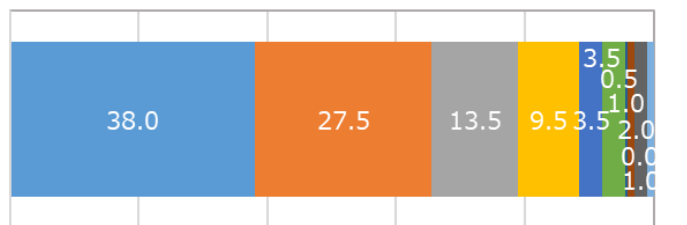
## 同居家族内最年少者の学齢





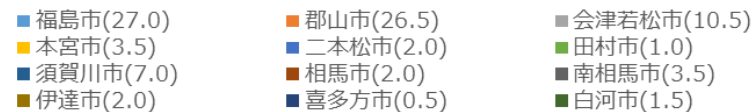
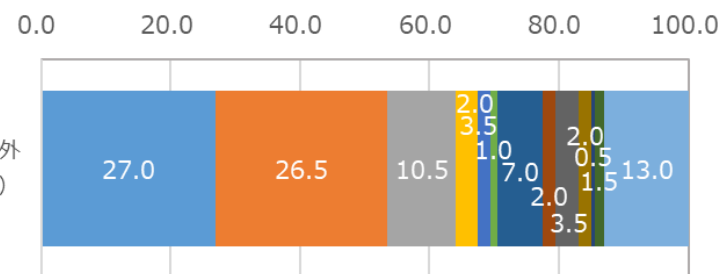
## 居住地【福島県いわき市在住者】

単位：％

福島県いわき市  
在住者 (n=200)

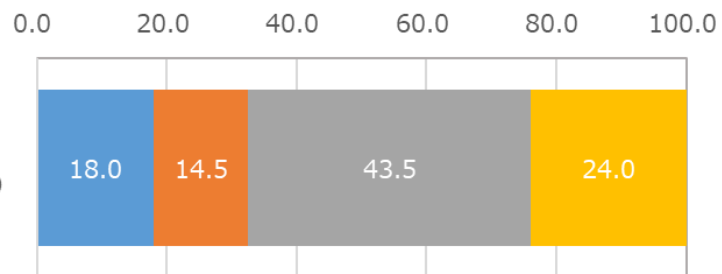
## 居住地【福島県いわき市以外在住者】

単位：％

福島県いわき市以外  
在住者 (n=200)

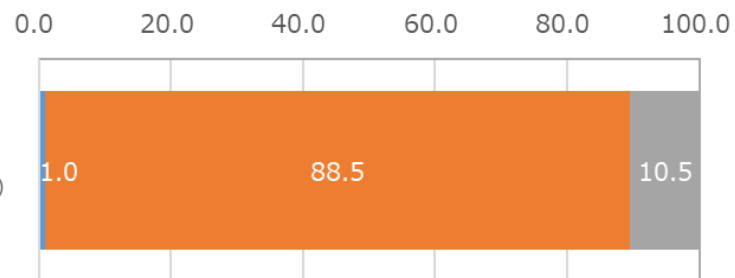
## 居住地【首都圏在住者】

単位：％

首都圏  
在住者 (n=200)

## 出身地【首都圏在住者】

単位：％

首都圏  
在住者 (n=200)



## 福島県いわき市在住者

- ✓ 放射性物質を気にしていない人：79.0%と全地域の中で放射性物質を気にしていない人の割合が最も低いが、3地域とも大きな差はない。ただし震災直後から全く不安を感じない人は12.5%と首都圏在住者よりも10ポイント以上低い。
- ✓ いわき市産の食品購入についての考え方は「売っていれば積極的に購入する」が3割を超えて他地域よりも10ポイント以上高く、地産地消の意識が高いことがうかがえる。
- ✓ 「放射性物質」の知識は、やはり首都在住者と比べると高い水準。特に「国のガイドラインに基づき、食品中の放射性物質の検査をしていることを知っている」は47.5%と高い認知を獲得。いわき市の風評被害払拭の為に「どれくらいの頻度で検査しているのか」という検査体制の詳細が必要と考えている様子。
- ✓ 広告認知はいずれの広告も2割前後だが、各地域の中では最も高い水準。

## 福島県いわき市以外在住者

- ✓ 放射性物質を気にしていない人：83.0%と全地域の中で放射性物質を気にしていない割合が最も高いが、3地域とも大きな差はない。
- ✓ いわき市産の食品購入についての考え方は「売っていれば積極的に購入する」が2割強にとどまり、いわき市在住者と比べて数値が10ポイント低い。
- ✓ 「放射性物質」に対する知識は、いわき市在住者と同様に首都圏在住者よりも高い水準。特に「全ての米の放射性物質の検査をしてきたことを知っている」は54.0%と認知が高い。いわき市の風評被害払拭の為に「購入対象となる農産物の検査結果の情報」が考えている様子。
- ✓ 広告認知はいずれの広告も1割半前後、首都圏在住者と比べると高いが、いわき市在住者には劣る結果。

## 首都圏在住者

- ✓ 放射性物質を気にしていない人：81.0%と全地域の中で放射性物質を気にしていない割合がいわき市在住者を超過して2番目に高いが、3地域とも大きな差はない。
- ✓ いわき市産の食品購入についての考え方は「売っていれば積極的に購入する」が1割強にとどまり、他の地域と比べて顕著に低く、いわき市産に対する購入の積極性は低いことがうかがえる。
- ✓ 「放射性物質」に対する知識は、福島県在住者と比べると総じて低く、「気持ちとしては基準値内であっても、出来るだけ放射性物質の含有量が低いものを食べたい」というネガティブな意識が他の地域に比べて高い。
- ✓ 広告認知はいずれの広告も1割前後と他の地域に比べて低い水準。



## 【現状の傾向】

いわき市在住者は前回調査と比べて、

- ・ 放射性物質に不安を感じない、気にしていないが増加（+2.5ポイント）
- ・ いわき市産の食品を積極的に購入が増加（+10.5ポイント）
- ・ 安全面が気になるので、可能な限り福島県産を避ける人は減少（-5.0ポイント）

放射性物質に対する不安やいわき市産食品購入に対する忌避反応は年々減少傾向にあり、ポジティブな結果。

いわき市産の食品購入についての考え方では「売っていれば積極的に購入する」は同地域の数値が突出して高いため、地元愛・地産地消に対する意識からか福島県産の食品の購入意向が他の地域と比べても高い。

福島県いわき市以外在住者は前回調査と比べて、

- ・ 放射性物質に不安を感じない、気にしていないが増加（+2.5ポイント）
- ・ いわき市産の食品を積極的に購入が増加（+4.5ポイント）
- ・ 安全面が気になるので、可能な限り福島県産を避ける人は減少（-5.0ポイント）

放射性物質を気にしていない割合が83.0%で各地域の中で最も高い。ただし、いわき市産の食品購入についての考え方は「売っていれば積極的に購入する」が2割強にとどまり、いわき市在住者とは10ポイントの差が生じていることから、不安がないと感じながらも、食品購入に対してはいわき市在住者と比べるとまだまだ抵抗感を感じている様子がうかがえる。

首都圏在住者は前回調査と比べて、

- ・ 放射性物質を気にしているが増加（+6.0ポイント）
- ・ いわき市産の食品を積極的に購入が減少（-1.5ポイント）したが、「他産地と同じレベルで購入するか判断する」が増加（+15.5ポイント）
- ・ 安全面が気になるので、可能な限り福島県産を避ける人は減少（-2.5ポイント）

前述の福島県在住者と比べると、放射性を気にしている割合や、いわき市産の食品を購入しないとする割合が増加傾向にあり、放射性物質に対する懸念がまだまだ払拭されていない様子。時間の経過による、情報の風化も懸念される。

## 【今後の対策】

- ✓ いずれの地域でも放射性物質に関する情報（検査結果、食品の放射性物質の基準値の妥当性）発信が引き続き必要。  
加えて、積極的購入者への移行を促すため、また情報の風化を防止するため、テレビやラジオ等による、いわき市産の魅力発信の強化やホームページ等による分かりやすい情報の提供が必要。



## 食品購入時重視点

Q1:あなたが普段、食品(農作物)を購入する際に重視する点を、以下の中からすべてお知らせください。(MA)

前回同様に全地域で「価格」がトップ。2位においては、いわき市以外在住者と首都圏在住者は前回同様「鮮度」となるが、いわき市在住者は「品質（味）」。  
また3位にはこれまでの傾向とは異なり、福島県では「消費・賞味期限」が挙げられる結果となる。

### 【福島県いわき市在住者】

N=200

(%)

	H28		H29		H30		R1		R2		R3(前回)		R4(今回)	
1位	価格	66.0	鮮度	63.0	価格	82.5	鮮度	71.0	鮮度	66.5	価格	77.0	価格	73.5
2位	鮮度	65.5	価格	62.0	鮮度	74.0	価格	67.5	価格	65.5	鮮度	69.5	品質（味）	59.0
3位	品質（味）	53.0	品質（味）	51.0	品質（味）	61.0	品質（味）	62.0	品質（味）	63.0	品質（味）	50.0	消費・賞味期限	51.5

### 【福島県いわき市以外在住者】

N=200

(%)

(%)

	H28		H29		H30		R1		R2		R3(前回)		R4(今回)	
1位	価格	65.3	価格	63.3	価格	78.0	価格	73.5	鮮度	69.0	価格	76.5	価格	73.5
2位	鮮度	61.3	鮮度	59.0	鮮度	74.5	鮮度	71.5	価格	64.5	鮮度	61.0	鮮度	56.0
3位	品質（味）	60.0	品質（味）	56.7	品質（味）	69.5	品質（味）	65.5	品質（味）	61.5	品質（味）	46.0	消費・賞味期限	49.5

### 【首都圏在住者】

N=200

(%)

(%)

	H28		H29		H30		R1		R2		R3(前回)		R4(今回)	
1位	品質（味）	66.3	鮮度	66.0	価格	77.5	価格	71.5	品質（味）	73.5	価格	67.0	価格	77.0
2位	鮮度	63.3	品質（味）	62.0	品質（味）	74.5	品質（味）	71	価格	71.0	鮮度	59.0	鮮度	62.0
3位	価格	63.0	価格	61.7	鮮度	69.5	鮮度	67.5	鮮度	66.0	品質（味）	53.5	品質（味）	59.5

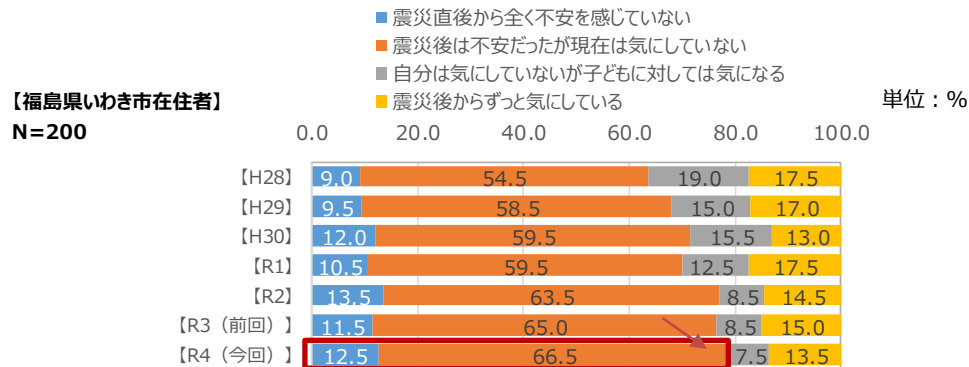




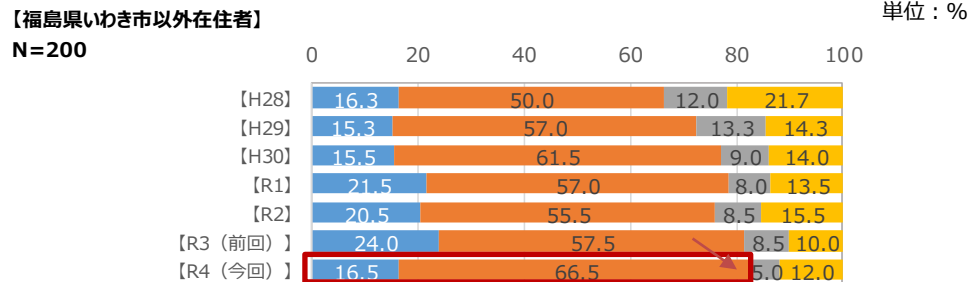
## 放射性物質についての考え

Q2:放射性物質について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。(SA)

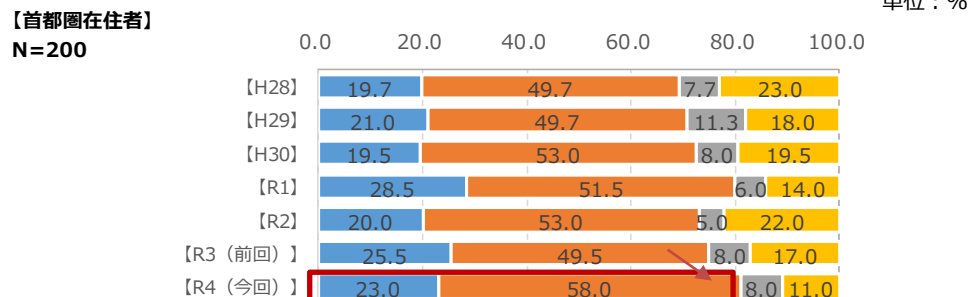
いずれの地域でも放射線物質を気にしていない人が増加。



+2.5



+2.5



+6.0

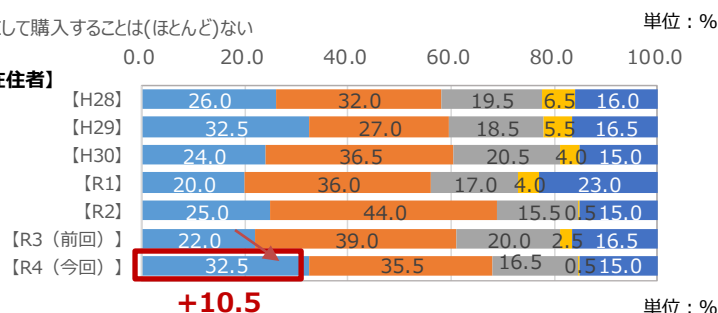
## いわき市産の食品購入についての考え

Q6:福島県いわき市産の食品(農作物)購入について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。(SA)

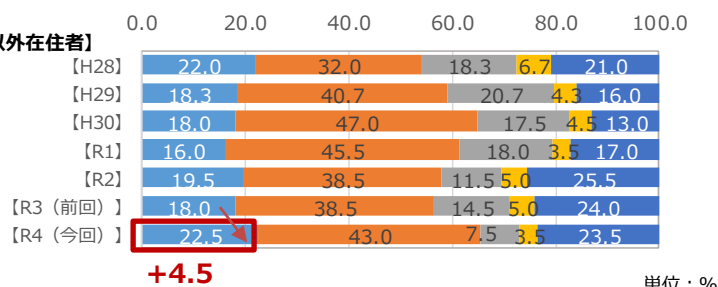
福島県内では「売っていれば積極的に購入する」が前回に比べ大幅に増加し、過去最大値となった。一方で首都圏は同項目の数値がやや減少し、過去最小値となった。「他産品と同レベルで購入するかを判断する」は15.5ポイント増加し、過去最大値となった。

- 売っていれば積極的に購入する
- 他産品と同レベルで購入するかを判断する(同じ値段でも味や鮮度などが良いと分かれば購入する)
- 同じ値段であれば、他産品のもの購入する(安ければ購入する)
- 購入しない
- 産地を気にして購入することは(ほとんど)ない

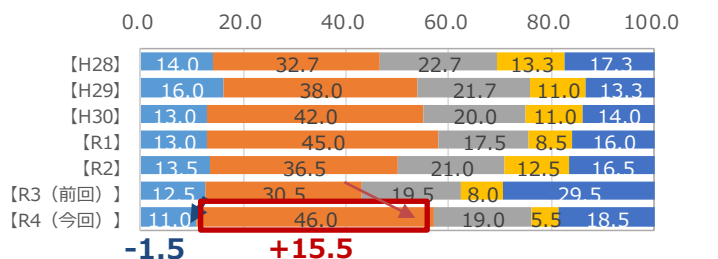
【福島県いわき市在住者】  
N=200



【福島県いわき市以外在住者】  
N=200



【首都圏在住者】  
N=200



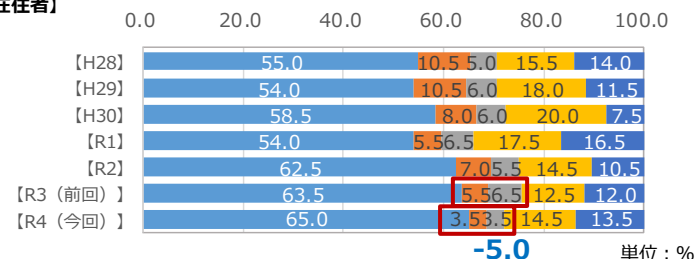
## 安全面を考慮した農作物の購入についての考え

Q11:安全面を考慮した農作物の購入について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。(SA)

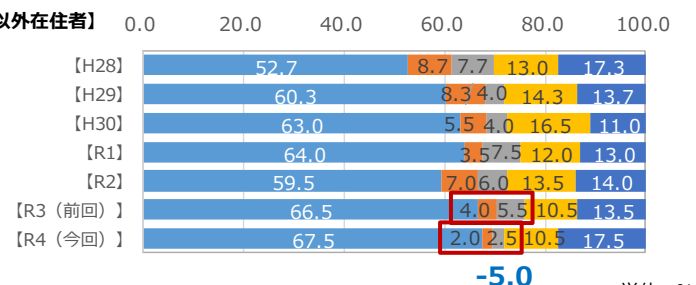
流通する農産物に対する安心感は県内においてやや増加し、過去最大値となった。福島県産の忌避者は各地域で減少し、過去最小値に、特に福島県内では全体と比べてその減少幅が大きい。

- 流通している農作物は安全なので、産地を気にせず購入している
- 安全面が気になるので、可能な限り、海外産と福島県産は避けて購入している
- 安全面が気になるので、可能な限り、福島県産は避けて購入している
- 安全面が気になるので、可能な限り、海外産は避けて購入している
- 安全面ではなく、味などの他の要素によって産地を気にしている

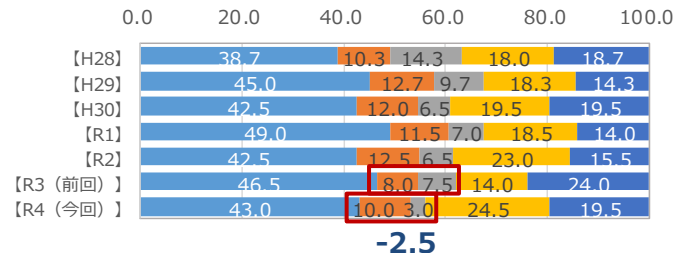
【福島県いわき市在住者】  
N=200



【福島県いわき市以外在住者】  
N=200



【首都圏在住者】  
N=200



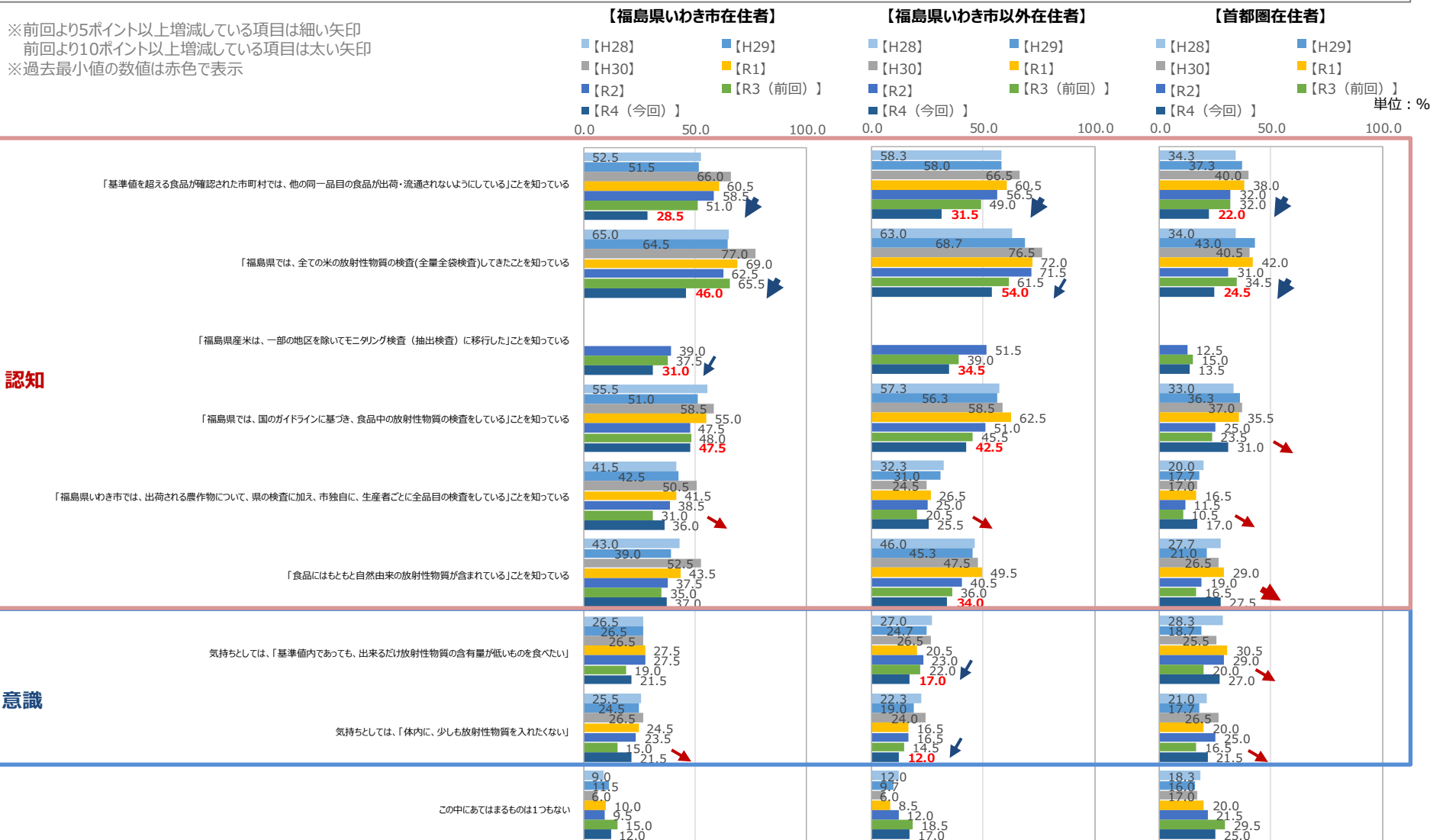


## 放射性物質に対する認知事項・意識

Q15:放射性物質に対する知識や思いについて、現在のあなたのお考えに近いものをすべてお知らせください。（MA）

放射性物質に対する認知は前回に比べて全体的に減少傾向。首都圏よりも福島県内の方が数値が高いが、過去最小値の項目が多い。  
意識（ネガティブ）は、福島県いわき市以外在住者が減少傾向にあり、過去最小値となったが、いわき市及び首都圏では前回よりも増加している。

※前回より5ポイント以上増減している項目は細い矢印  
前回より10ポイント以上増減している項目は太い矢印  
※過去最小値の数値は赤色で表示





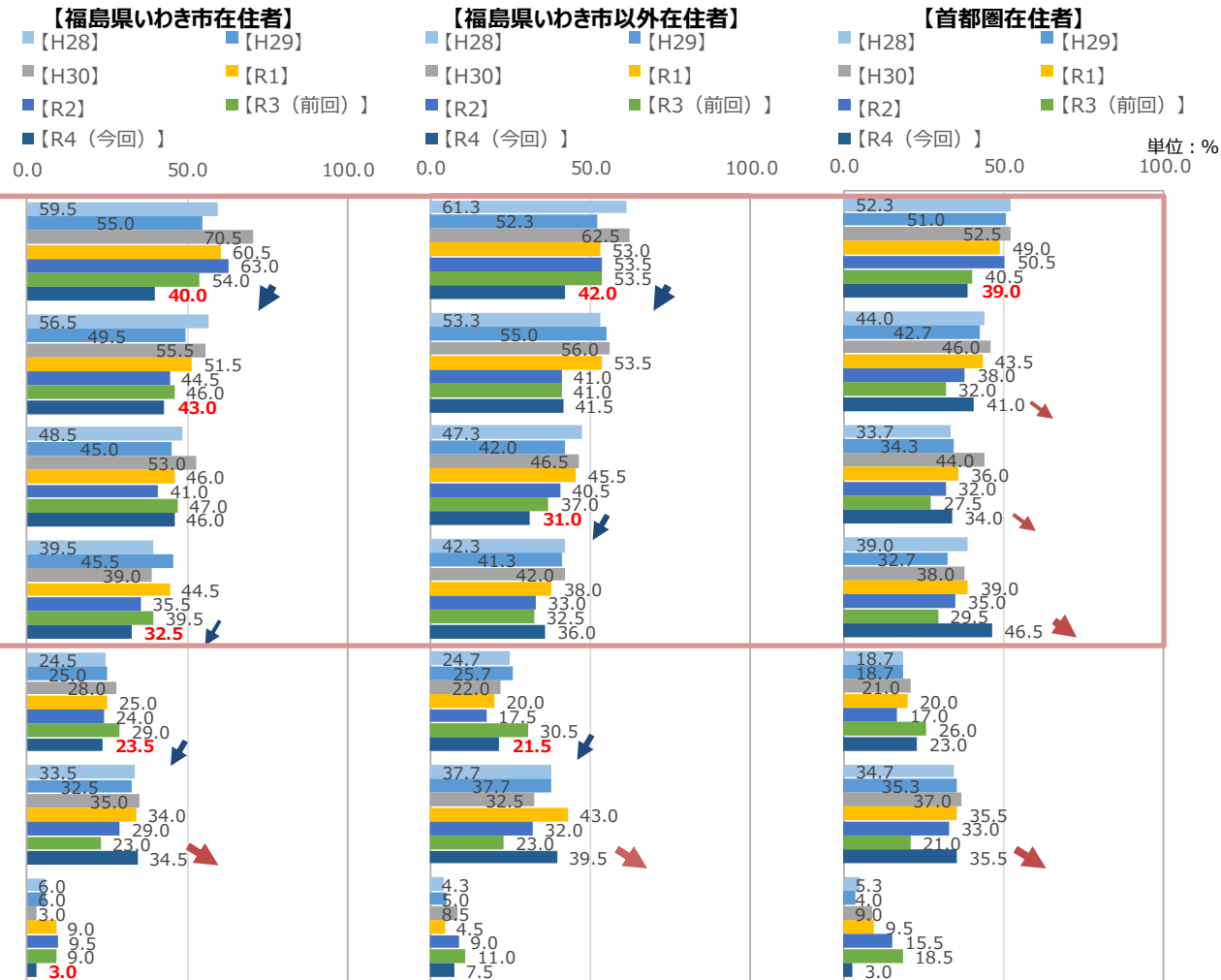
## いわき市食品への風評被害払拭に必要と思う情報

Q16:あなたは、福島県いわき市の食品(農作物)に関する風評被害払拭のためには、どのような情報が必要だと思いますか。以下の中から、あてはまるものをすべてお知らせください。(MA)

検査体制や結果、基準値に関する情報は、いわき市在住者では前回よりも減少しているが、首都圏では前回よりも増加している項目が多い。  
その他、「どのような人が作っているかという生産者の顔が分かる情報」が全ての地域で減少した一方で、「味や鮮度などの魅力が分かる情報」は増加している。

※前回より5ポイント以上増減している項目は細い矢印  
前回より10ポイント以上増減している項目は太い矢印  
※過去最小値の数値は赤色で表示

### 検査体制や結果、基準値に関する情報



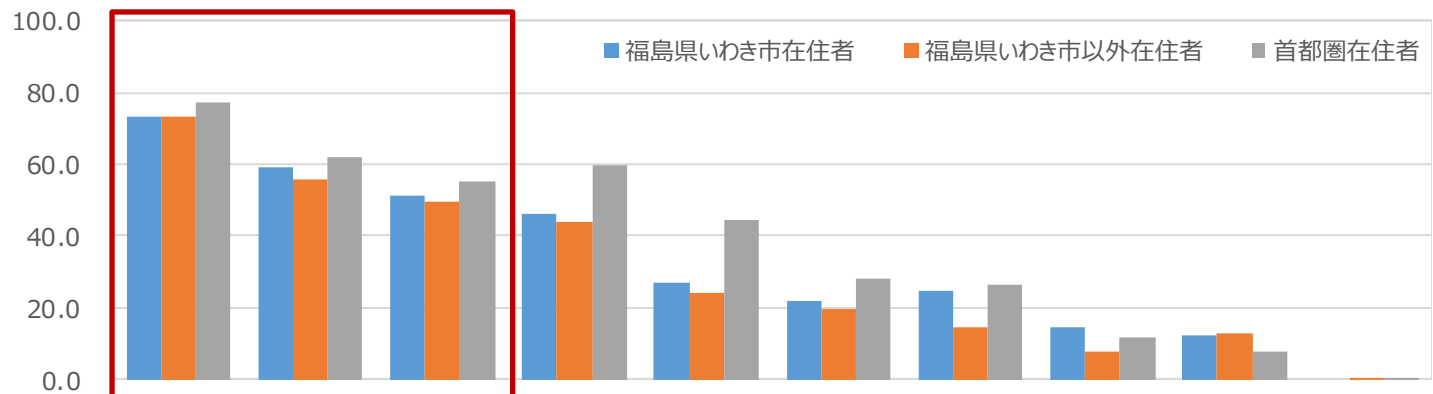


## 調査結果詳細

---

Q1. あなたが普段、食品(農作物)を購入する際に重視する点を、以下の中からすべてお知らせください。(複数選択可)

- 食品購入時重視点は「価格」が7割半で突出、次いで「鮮度」が6割弱、「消費期限・賞味期限」が5割強で続く。
- 首都圏在住者は全体と比べて「品質（味）」と「生産・加工地」に対する重視度が高い。
- 安全性の重視度は1～2割台に留まるが、首都圏在住者は福島県在住者に比べて数値が高い様子。



単位：%		N数	価格	鮮度	消費期限・賞味期限	品質（味）	生産・加工地	加物の安全性（残留農薬など）	安全性（放射線被ばく）	安全性（放射線被ばく）	ブランド	特にない・分からない	その他
全体		600	74.7	59.0	52.0	49.8	31.8	23.2	22.0	11.5	11.2	0.3	
居住地別	福島県いわき市在住者	200	73.5	59.0	51.5	46.0	27.0	22.0	25.0	14.5	12.5	-	
	福島県いわき市以外在住者	200	73.5	56.0	49.5	44.0	24.0	19.5	14.5	8.0	13.0	0.5	
	首都圏在住者	200	77.0	62.0	55.0	59.5	44.5	28.0	26.5	12.0	8.0	0.5	

Q1. あなたが普段、食品(農作物)を購入する際に重視する点を、以下の中からすべてお知らせください。(複数選択可)

- 回答者の内訳として、どの地域も5～6割が中学生以上の家庭。
- いわき市在住者は小学生以外の家庭で「価格」や「鮮度」の数値が高い。
- 福島県いわき市以外在住者は小学生の家庭で「価格」の数値が高いが、全体的に数値が低い項目が多い。
- 首都圏在住の乳幼児・未就学児の家庭では各項目の数値が全体的に低い一方で、中学生以上の家庭では、各項目の数値が全体的に高く、重視点の多い家庭であることがうかがえる。

単位：％		N数	価格	鮮度	消費期限・賞味期限	品質(味)	生産・加工地	加以外安全性(放射線被ばく、残留農薬など)	く安全性(放射線被ばく)	ブランド	特にない・分からない	その他
全体		600	74.7	59.0	52.0	49.8	31.8	23.2	22.0	11.5	11.2	0.3
同居家族内の最年少者年齢別	乳幼児・未就学児	61	77.0	52.5	44.3	45.9	36.1	18.0	21.3	11.5	9.8	0.0
	小学生	52	67.3	61.5	50.0	53.8	32.7	28.8	19.2	13.5	5.8	0.0
	中学生以上	348	79.3	65.2	56.0	52.6	35.1	25.9	25.0	11.8	9.2	0.6
居住地×同居家族内の最年少者年齢別	福島県いわき市在住者	200	73.5	59.0	51.5	46.0	27.0	22.0	25.0	14.5	12.5	0.0
	乳幼児・未就学児	28	85.7	64.3	46.4	42.9	28.6	21.4	25.0	25.0	10.7	0.0
	小学生	24	54.2	58.3	54.2	50.0	29.2	20.8	16.7	12.5	8.3	0.0
	中学生以上	102	81.4	65.7	56.9	51.0	29.4	24.5	29.4	12.7	10.8	0.0
	福島県いわき市以外在住者	200	73.5	56.0	49.5	44.0	24.0	19.5	14.5	8.0	13.0	0.5
	乳幼児・未就学児	22	72.7	40.9	45.5	54.5	27.3	18.2	13.6	0.0	9.1	0.0
	小学生	15	86.7	60.0	53.3	46.7	13.3	26.7	6.7	13.3	6.7	0.0
	中学生以上	124	76.6	63.7	51.6	43.5	29.0	23.4	18.5	10.5	11.3	0.8
	首都圏在住者	200	77.0	62.0	55.0	59.5	44.5	28.0	26.5	12.0	8.0	0.5
	乳幼児・未就学児	11	63.6	45.5	36.4	36.4	72.7	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0
	小学生	13	69.2	69.2	38.5	69.2	61.5	46.2	38.5	15.4	0.0	0.0
	中学生以上	122	80.3	66.4	59.8	63.1	45.9	29.5	27.9	12.3	5.7	0.8

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q2. 放射性物質について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。（1つ選択）

- 現在、放射性物質を気にしていない人（「震災直後から不安を感じていない」+「震災後は不安だったが現在は気にしていない」）は、いわき市在住者が79.0%、福島県いわき市以外在住者が83.0%、首都圏在住者が81.0%と大きな差はない。
- 首都圏在住者では、「震災後から全く不安を感じていない」が23.0%で、福島県いわき市在住者・いわき市以外在住者に比べて数値が高め。



「震災直後から  
全く不安を感じ  
ていない」+「震  
災後は不安だっ  
たが現在は気に  
していない」

81.0

79.0

83.0

81.0

全体

600

17.3

63.7

6.8

12.2

居住地別

福島県いわき市在住者

200

12.5

66.5

7.5

13.5

福島県いわき市以外在住者

200

16.5

66.5

5.0

12.0

首都圏在住者

200

23.0

58.0

8.0

11.0

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所



## Q2. 放射性物質について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。（1つ選択）

- 回答者の内訳として、どの地域も5～6割が中学生以上の家庭。
- 最年少同居家族が乳幼児・未就学児の家庭では「自分は気にしていないが子どもに対しては気になる」は16.4%で全体に比べ約10ポイント高い。そのうち特に福島県いわき市以外・首都圏在住者は18.2%と数値が高い。同居家族内の最年少者が小学生以上の家庭に比べて子どもへの影響が気にされている。
- 福島県いわき市以外在住者の最年少同居家族が小学生の家庭では「震災後は不安だったが現在は気にしていない」が80.0%と全体と比べて数値が約16ポイント高い。
- 首都圏在住者の乳幼児・未就学児の家庭では「震災直後から全く不安を感じていない」が全体と比べて約37ポイント高い。

単位：%		N 数	感全震 じく災 て不直 い安後 なを から	気だ震 につ災 した後 てがは い現不 な在安 いは	にが自 な子分 るどは も気 にに 対し して てい はな 気い	気ず震 につ災 しと後 てから
全体		600	17.3	63.7	6.8	12.2
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	18.0	54.1	16.4	11.5
	小学生	52	17.3	63.5	11.5	7.7
	中学生以上	348	14.7	67.5	6.9	10.9
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	12.5	66.5	7.5	13.5
	乳幼児・未就学児	28	10.7	67.9	14.3	7.1
	小学生	24	20.8	58.3	12.5	8.3
	中学生以上	102	11.8	68.6	7.8	11.8
	福島県いわき市以外在住者	200	16.5	66.5	5.0	12.0
	乳幼児・未就学児	22	9.1	50.0	18.2	22.7
	小学生	15	13.3	80.0	6.7	0.0
	中学生以上	124	18.5	66.1	4.0	11.3
	首都圏在住者	200	23.0	58.0	8.0	11.0
	乳幼児・未就学児	11	54.5	27.3	18.2	0.0
	小学生	13	15.4	53.8	15.4	15.4
	中学生以上	122	13.1	68.0	9.0	9.8

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q3. 放射性物質について、現在あなたが気にされていることは、主にどのようなことですか。具体的にお知らせください。

## 福島県いわき市在住者

※回答の一部抜粋

- いつ放射線物質が福島県民の身体に悪さするのか。（50歳 男性）
- 最近、膵臓・胆管癌で亡くなる人が周りが多いので、なんとなく内部被曝が気になります。ですので、海洋放水もありますので、海産物は、他地域で取れたもの、キノコなども地元天然は避けています。（52歳 男性）
- 放射性物質は身体に蓄積するものだと聞いたので、少量でも長い期間その農作物等を食べ続けたり空気を吸っていたりすれば、将来的に人体に影響がでてくるのではないかと不安です。（30歳 女性）
- 空間も含めて全ての放射性物質がどのくらいで、現在は安全なのか。（39歳 女性）

## 福島県いわき市以外在住者

※回答の一部抜粋

- 除染や時間経過した場所での放射性物質の量及び放射線の強さ（37歳 男性）
- 今の基準値で大丈夫なのか、過去の経験からしたら未来の事が分からない。（67歳 男性）
- 放射性物質への根拠無い風評被害。（67歳 男性）
- 結婚して子どもが生まれた時の影響（21歳 女性）
- 体への影響。子どもの被曝による甲状腺の異常がないか心配になります。実際にうちの子は一回異常があるとなり様子観察中です。（38歳 女性）

## 首都圏在住者

※回答の一部抜粋

- 放射性物質の被ばくによる発がんリスクについて。（38歳 男性）
- 食べ物の中に放射性物質がどの程度残っているか（57歳 男性）
- いつの間にか放射性物質が蓄積されていて、いつか健康被害が及ぶのではないのかということが気になる。（36歳 女性）
- 生で食べることの多い葉物野菜の残留放射性物質の有無（50歳 女性）
- セシウムくらいしか表に出てこず、半減期の長いストロンチウムなどは全く開示されないこと。（48歳 女性）

Q4. 放射性物質について、以前あなたが気にされていたことは、主にどのようなことでしたか。具体的にお知らせください。

## 福島県いわき市在住者

※回答の一部抜粋

- 土壌汚染によって、そこで育てられている作物自体にも汚染物質が混入し食べた際に体に何らかの影響(長期的に見た時)を及ぼすと考えていました。(30歳 男性)
- 子どもにどう影響があるか(47歳 男性)
- 放射性物質が基準値以下の環境で、基準値以下の食材。しかし他の地域よりどちらも高いので本当に安全なのか不安だった。(62歳 男性)
- 未知な物質という認識だったため、その後の健康被害が不安だった。(36歳 女性)

## 福島県いわき市以外在住者

※回答の一部抜粋

- 魚や野菜の残留放射線量を気にしていた(38歳 男性)
- 空間や食品に放射性物質が含まれているのか(48歳 男性)
- 農産物の残留放射能が当初はかなり気になった。あと、爆発後雨が降り雨樋にはあまり近付かないようにした。(59歳 男性)
- 原発事故当時は子どもが小さく、放射線量が高くなった地域で自宅で野菜を栽培していたこともあり、子どもに悪影響がないか気にしていました。(47歳 女性)
- 震災当時外にいたので放射能を浴びてしまっていたのでは無いかと感じていた(48歳 女性)

## 首都圏在住者

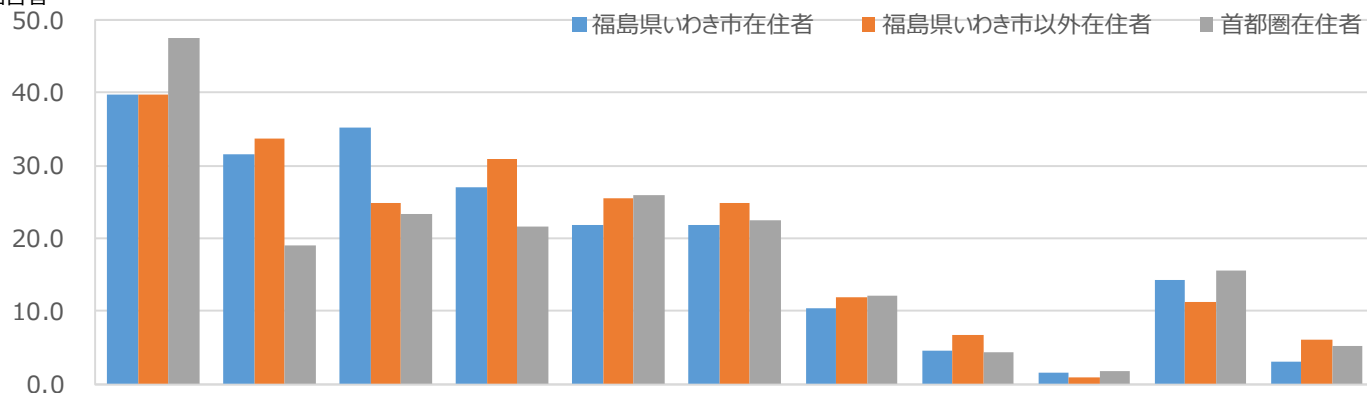
※回答の一部抜粋

- 食品に悪影響があったとして、それを食べたら体の不調が起きそうだったから(39才 男性)
- 放射性物質の経年とり込による体内被爆(52歳 男性)
- 直近ではなく、長いスパンで体内に異常が起きたり、奇形児などが産まれるのではないかと。(45歳 女性)
- 知らないところで口にしているのではないかと漠然とした不安(47歳 女性)
- 被爆した地域で生産された農産物を、消費することにより、自分や家族に健康被害が及ぶのではないかと気にしていた。(64歳 女性)

Q5. では、放射性物質について、現在気にしなくなったのは、どのようなことがきっかけになりましたか。（複数選択可）

- いわき市在住者、福島県いわき市以外在住者、首都圏在住者のいずれも「時間の経過で」が最も高い。
- 「放射性物質に対する正しい理解をしたから」と「被害地域の除染実施状況から」は福島県在住者に比べて、首都圏在住者の数値が低く、地域間での理解度に対する差が見られる結果となった。

※「震災後は不安だったが現在は気にしていない」回答者



単位：%		N数	時間の経過で	正しい放射性物質に対する理解をしたから	変化する放射性物質の扱いから大きな	被害地域の除染実施状況から	政府や自治体の安全確保	テレビや新聞、雑誌	有識者の見解を聞いた	友人・知人の意見、評判	放射性物質に関連の地域	なんとなく	その他
全体		382	42.1	28.5	28.0	26.7	24.3	23.0	11.5	5.2	1.3	13.6	4.7
居住地別	福島県いわき市在住者	133	39.8	31.6	35.3	27.1	21.8	21.8	10.5	4.5	1.5	14.3	3.0
	福島県いわき市以外在住者	133	39.8	33.8	24.8	30.8	25.6	24.8	12.0	6.8	0.8	11.3	6.0
	首都圏在住者	116	47.4	19.0	23.3	21.6	25.9	22.4	12.1	4.3	1.7	15.5	5.2

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q5. では、放射性物質について、現在気にしなくなったのは、どのようなことがきっかけになりましたか。（複数選択可）

- 回答者の内訳として、どの地域も5～7割が中学生以上の家庭。
- 同居家族内の最年少者が乳幼児・未就学児の家庭では「時間の経過で」が全体と比べて10ポイント以上高い。
- いわき市在住者と福島県いわき市以外在住者の中学生以上の家庭では「放射性物質に対する正しい理解をしたから」が全体に比べ5ポイント以上高い。対して、首都圏在住の中学生以上の家庭では数値が5ポイント以上低く、地域間での理解度のギャップが大きい。

※「震災後は不安だったが現在は気にしていない」回答者

単位：%		N 数	時 間 の 経 過 で	し 放 い 射 理 性 解 物 質 し に 対 か ら る 正	化 身 が の な 回 い り か ら は 大 き な 変	況 被 か 害 ら 地 域 の 除 染 実 施 状	か P 政 ら R 府 活 や 動 自 を 治 見 体 聞 の き 安 し 全 た	の テ メ レ デ ビ イ ア 新 聞 、 雑 誌 等	有 識 者 の 見 解 を 聞 い て	判 友 で 人 ・ 知 人 の 意 見 、 評	イ 放 ベ 射 ン 性 ト 物 に 質 参 関 加 連 し て 地 域	な ん と な く	そ の 他
全体		382	42.1	28.5	28.0	26.7	24.3	23.0	11.5	5.2	1.3	13.6	4.7
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	33	57.6	24.2	24.2	21.2	15.2	15.2	15.2	3.0	6.1	15.2	3.0
	小学生	33	42.4	24.2	33.3	33.3	15.2	24.2	15.2	9.1	0.0	15.2	3.0
	中学生以上	235	38.3	31.9	31.5	27.7	28.5	26.8	11.1	5.5	1.3	11.9	5.5
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	133	39.8	31.6	35.3	27.1	21.8	21.8	10.5	4.5	1.5	14.3	3.0
	乳幼児・未就学児	19	63.2	26.3	26.3	21.1	15.8	5.3	15.8	5.3	5.3	15.8	0.0
	小学生	14	50.0	21.4	21.4	28.6	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0
	中学生以上	70	31.4	34.3	41.4	31.4	27.1	30.0	11.4	5.7	1.4	12.9	2.9
	福島県いわき市以外在住者	133	39.8	33.8	24.8	30.8	25.6	24.8	12.0	6.8	0.8	11.3	6.0
	乳幼児・未就学児	11	54.5	27.3	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1
	小学生	12	33.3	41.7	41.7	50.0	25.0	33.3	25.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	中学生以上	82	31.7	39.0	30.5	29.3	28.0	29.3	13.4	6.1	1.2	7.3	8.5
	首都圏在住者	116	47.4	19.0	23.3	21.6	25.9	22.4	12.1	4.3	1.7	15.5	5.2
	乳幼児・未就学児	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	小学生	7	42.9	0.0	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
	中学生以上	83	50.6	22.9	24.1	22.9	30.1	21.7	8.4	4.8	1.2	15.7	4.8

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

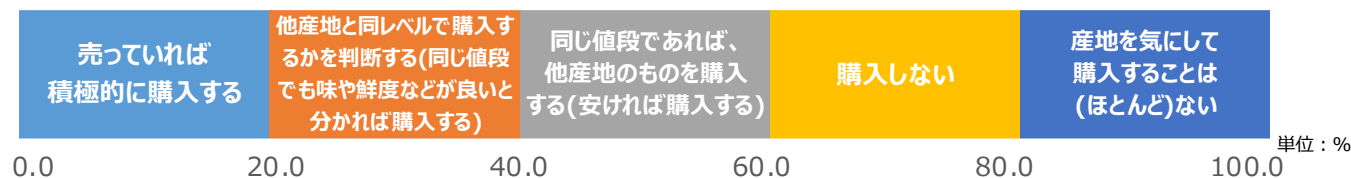
■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所



Q6. 福島県いわき市産の食品(農作物)購入について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。(1つ選択)

- 全地域で「他産地と同レベルで購入するかを判断する」が最も高く、「購入しない」が最も低い。
- いわき市在住者は「売っていれば積極的に購入する」が他地域よりも10ポイント以上高く、地産地消の意識が高いことがうかがえる。
- 福島県いわき市以外在住者は「産地を気にして購入することは(ほとんど)ない」が23.5%であり、いわき市在住者と首都圏在住者に比べて5ポイント以上高い。
- 首都圏在住者では「購入しない」が5.5%といわき市在住者に比べて5ポイント高い。



全体		600	22.0	41.5	14.3	3.2	19.0
居住地別	福島県いわき市在住者	200	32.5	35.5	16.5	0.5	15.0
	福島県いわき市以外在住者	200	22.5	43.0	7.5	3.5	23.5
	首都圏在住者	200	11.0	46.0	19.0	5.5	18.5

Q6. 福島県いわき市産の食品(農作物)購入について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。(1つ選択)

- 回答者の内訳として、どの地域も5～6割が中学生以上の家庭。
- 最年少同居家族が小学生の家庭では「他産地と同レベルで購入するかを判断する」が全体と比べて5ポイント以上低い。「他産地と同レベルで購入するかを判断する」は小学生以下の家庭よりも中学生以上の家庭の方が全体と比べてポイントが高い。
- いわき市在住者はいずれの家庭でも「売っていれば積極的に購入する」が全体と比べて10ポイント以上高い。
- 首都圏在住者はいずれの家庭でも「売っていれば積極的に購入する」が全体と比べて5～10ポイント以上低い。
- 首都圏在住の乳幼児・未就学児の他産地と同レベルで購入するかを判断する」が全体と比べて約22ポイント高い。

単位：%		N数	購 売 入 っ す て る い れ ば 積 極 的 に	ば 度 ( 入 他 購 な 同 す 産 入 ど じ る 地 す が 値 か と る 良 段 を 同 〜 い で 判 レ と も 断 ベ 分 味 す ル か や る で れ 鮮 購	( 産 同 安 地 じ け の 値 れ も 段 ば の で 購 を あ 入 購 れ す 入 ば る す 、 〜 る 他	購 入 し な い	な る 産 い こ 地 と を は 気 ( ほ し と て ん 購 ど 入 〜 す
全体		600	22.0	41.5	14.3	3.2	19.0
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	23.0	39.3	13.1	3.3	21.3
	小学生	52	23.1	36.5	15.4	1.9	23.1
	中学生以上	348	24.1	46.0	13.8	2.9	13.2
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	32.5	35.5	16.5	0.5	15.0
	乳幼児・未就学児	28	32.1	32.1	14.3	0.0	21.4
	小学生	24	33.3	29.2	20.8	0.0	16.7
	中学生以上	102	35.3	39.2	15.7	0.0	9.8
	福島県いわき市以外在住者	200	22.5	43.0	7.5	3.5	23.5
	乳幼児・未就学児	22	22.7	36.4	9.1	9.1	22.7
	小学生	15	13.3	40.0	0.0	0.0	46.7
	中学生以上	124	26.6	49.2	5.6	2.4	16.1
	首都圏在住者	200	11.0	46.0	19.0	5.5	18.5
	乳幼児・未就学児	11	0.0	63.6	18.2	0.0	18.2
	小学生	13	15.4	46.2	23.1	7.7	7.7
	中学生以上	122	12.3	48.4	20.5	5.7	13.1

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所



Q7. あなたが、福島県いわき産の食品（農作物）を購入しない理由を具体的にお知らせください。

## 福島県いわき市在住者

※回答の一部抜粋

- なんとなくです（49歳 男性）

## 福島県いわき市以外在住者

※回答の一部抜粋

- まだ不安がある（39歳 男性）
- いわきに限らず県内産は買わないため（34歳 女性）

## 首都圏在住者

※回答の一部抜粋

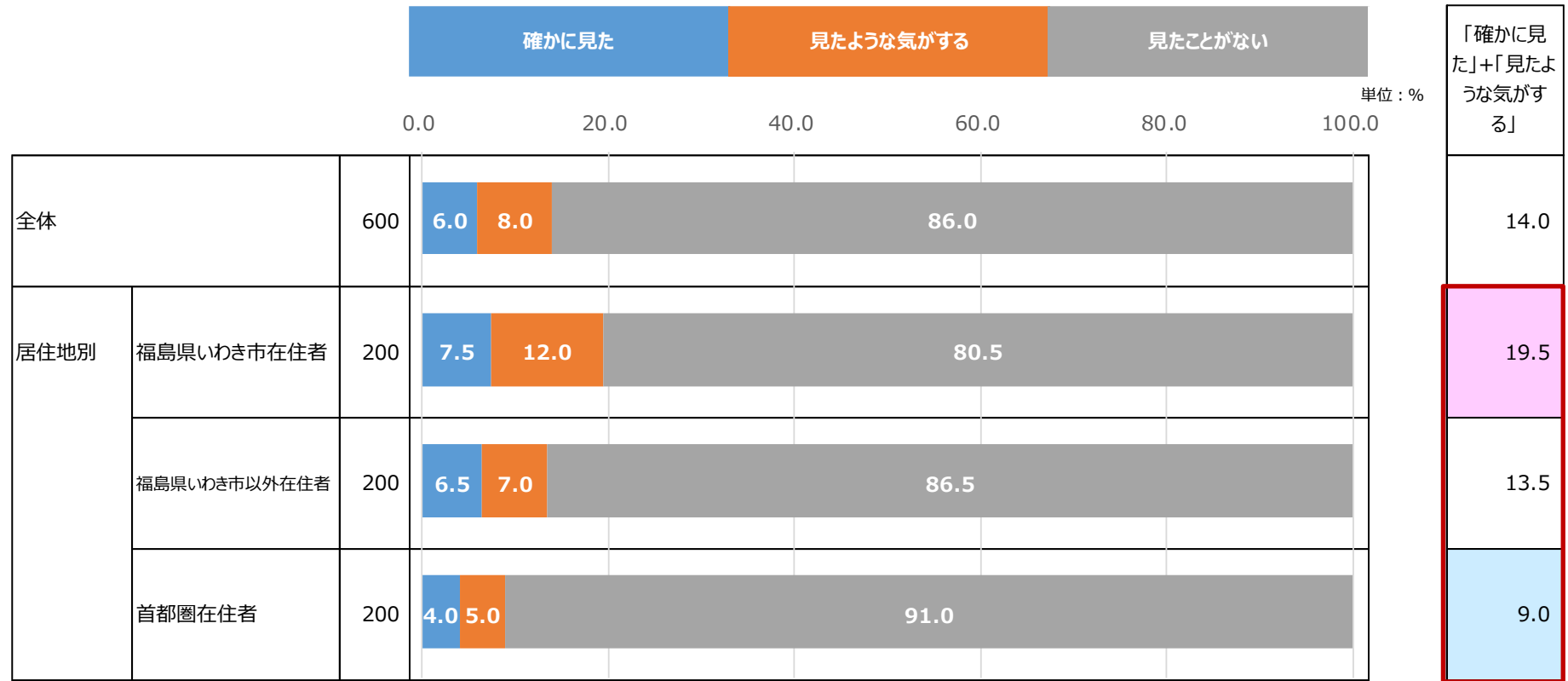
- 健康被害があるのではないかと感じてしまう。（33歳 男性）
- なんとなく、いまだに放射能汚染と福島県はセットとして捉えてしまう。（56歳 男性）
- 福島全体の農産品は避けているため（34歳 女性）
- 放射性物質の状況が不明であり、政府の発信は基本的に信用していないため。（48歳 女性）



Q8. あなたは、タレントのあばれる君を起用し、令和4年12月にWeb等で公開された「いわきのめぐみPR動画」や「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」、「あばれる君キャンプ飯動画」をご覧になったことがありますか。（それぞれ1つずつ選択）

Q8-1. ①「いわきのめぐみPR動画」

- 「いわきのめぐみPR動画」は、いわき市在住者は「確かに見た」+「見たような気がする」が19.5%と全体と比べて5ポイント以上高い。
- 認知（「確かに見た」+「見たような気がする」）は、いわき市から離れるほどポイントが低くなっている。



Q8. あなたは、タレントのあばれる君を起用し、令和4年12月にWeb等で公開された「いわきのめぐみPR動画」や「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」、「あばれる君キャンプ飯動画」をご覧になったことがありますか。（それぞれ1つずつ選択）

Q8-1. ①「いわきのめぐみPR動画」

- 最年少同居家族が乳幼児・未就学児の家庭では、いずれの地域でも「確かに見た」が全体と比べて高い水準。
- 福島県いわき市以外在住者で最年少同居家族が小学生と、首都圏在住者の中学生以上の家庭では「見たことがない」が100%、91.8%と全体と比べて高い。

単位：%		N 数	確 か に 見 た	見 た よ う な 気 が す る	見 た こ と が な い
全体		600	6.0	8.0	86.0
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	13.1	11.5	75.4
	小学生	52	3.8	5.8	90.4
	中学生以上	348	5.5	8.6	85.9
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	7.5	12.0	80.5
	乳幼児・未就学児	28	10.7	14.3	75.0
	小学生	24	8.3	4.2	87.5
	中学生以上	102	6.9	14.7	78.4
	福島県いわき市以外在住者	200	6.5	7.0	86.5
	乳幼児・未就学児	22	13.6	9.1	77.3
	小学生	15	0.0	0.0	100.0
	中学生以上	124	6.5	7.3	86.3
	首都圏在住者	200	4.0	5.0	91.0
	乳幼児・未就学児	11	18.2	9.1	72.7
	小学生	13	0.0	15.4	84.6
	中学生以上	122	3.3	4.9	91.8

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

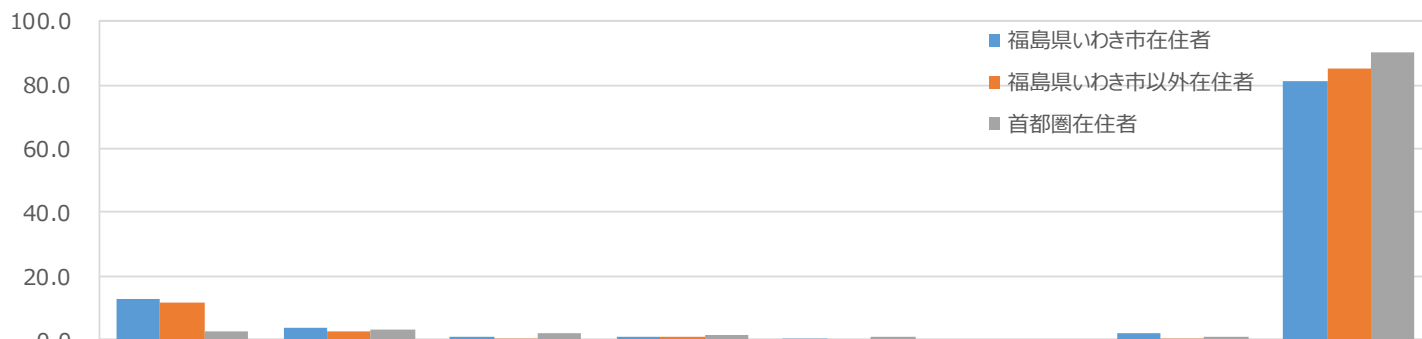
■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q9. では、これらの動画や関連情報をどちらで、見聞きされましたか。(それぞれ複数選択可)

Q9-1. ①「いわきのめぐみPR動画」

- いわき市在住者と福島県いわき市以外在住者の動画の認知経路は「テレビ」が10%を超えて最も多い。
- 首都圏在住者は「YouTube」が3.5%で最も多い。
- いずれの地域においても「わからない・覚えていない」が突出しており、明確な認知経路が認識されていない結果。

※動画認知者



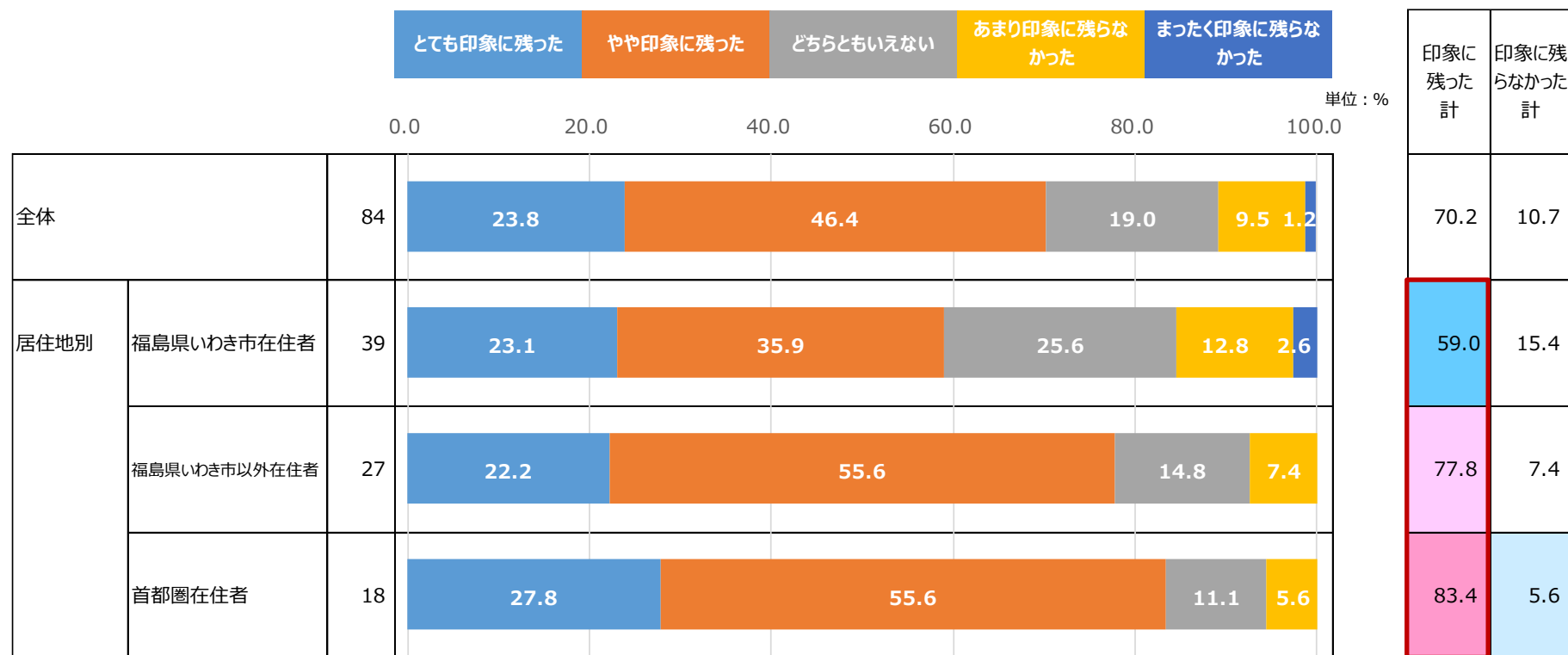
単位 : %		N数	テレビで	YouTubeで	ホームページで	スーパーなどで量販店の店頭で	Instagramで	Facebookで	その他	わからない、覚えていない
全体		600	9.2	3.3	1.2	1.2	0.5	0.0	1.2	85.3
居住地別	福島県いわき市在住者	200	13.0	4.0	1.0	1.0	0.5	0.0	2.0	81.0
	福島県いわき市以外在住者	200	11.5	2.5	0.5	1.0	0.0	0.0	0.5	85.0
	首都圏在住者	200	3.0	3.5	2.0	1.5	1.0	0.0	1.0	90.0

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q10. あなたが、この広告をご覧になって、どのような印象を持たれましたか。お気持ちに近いものをお知らせください。（1つ選択）

### Q10-1. ①「いわきのめぐみPR動画」

- いわき市在住者による印象に残った計（「とても印象に残った」＋「やや印象に残った」）は59.0%と全体と比べて10ポイント以上低い。
- 一方で福島県いわき市以外在住者や首都圏在住者による、印象に残った計は全体と比べて5～10ポイント以上高く、いわき市から離れた場所ほど数値が高い。

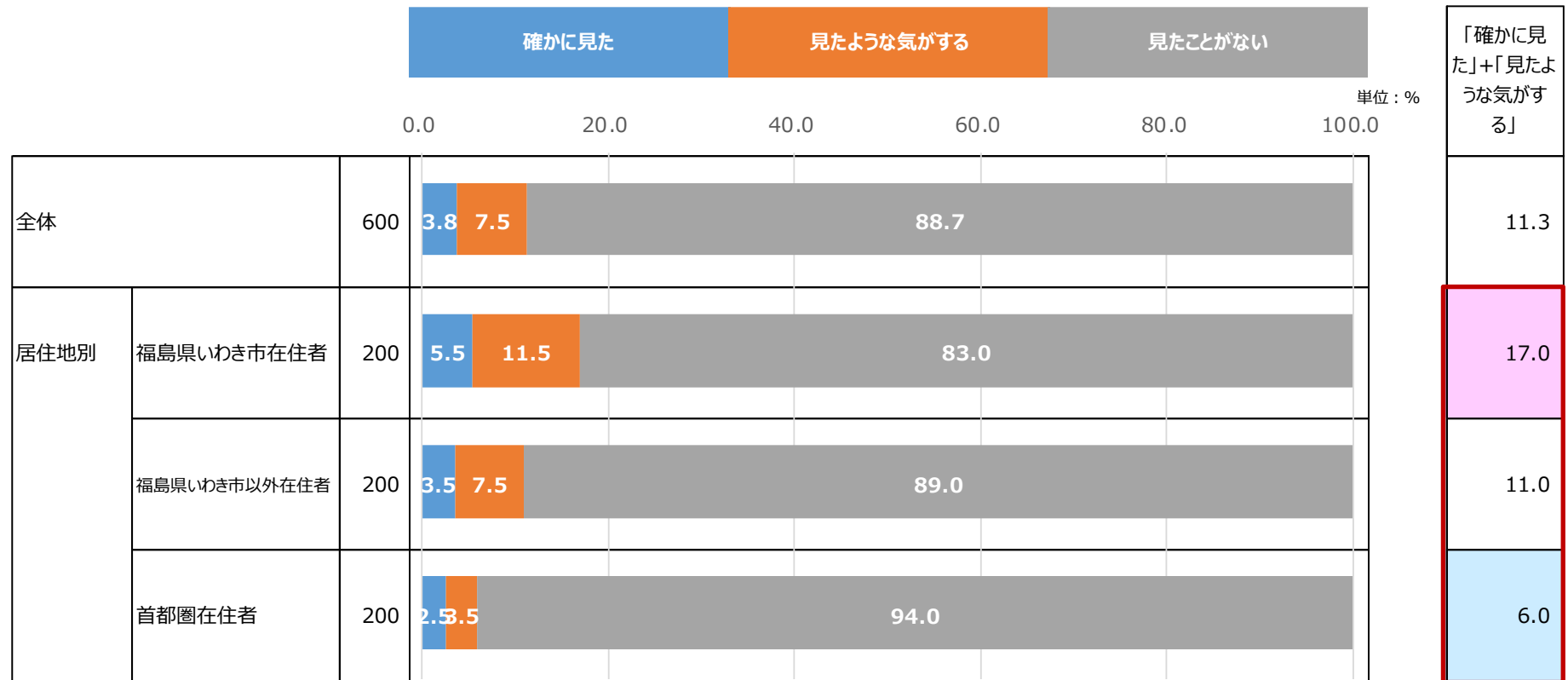


■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q8. あなたは、タレントのあばれる君を起用し、令和4年12月にWeb等で公開された「いわきのめぐみPR動画」や「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」、「あばれる君キャンプ飯動画」をご覧になったことがありますか。（それぞれ1つずつ選択）

Q8-2. ②「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」

- 「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」は、いわき市在住者は「確かに見た」+「見たような気がする」が17.0%と全体と比べて5ポイント以上高い。
- 認知（「確かに見た」+「見たような気がする」）は、いわき市から離れるほどポイントが低くなっている。



Q8. あなたは、タレントのあばれる君を起用し、令和4年12月にWeb等で公開された「いわきのめぐみPR動画」や「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」、「あばれる君キャンプ飯動画」をご覧になったことがありますか。（それぞれ1つずつ選択）

Q8-2. ②「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」

- 最年少同居家族が小学生以下の家庭では、「確かに見た」が全体と比べて高い水準。
- 福島県いわき市以外在住者で最年少同居家族が小学生と、首都圏在住者の中学生以上の家庭では「見たことがない」が100%、96.7%と全体と比べて高い。

単位：%		N 数	確 か に 見 た	見 た よ う な 気 が す る	見 た こ と が な い
全体		600	3.8	7.5	88.7
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	8.2	13.1	78.7
	小学生	52	5.8	1.9	92.3
	中学生以上	348	2.6	7.8	89.7
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	5.5	11.5	83.0
	乳幼児・未就学児	28	7.1	10.7	82.1
	小学生	24	12.5	0.0	87.5
	中学生以上	102	3.9	14.7	81.4
	福島県いわき市以外在住者	200	3.5	7.5	89.0
	乳幼児・未就学児	22	9.1	13.6	77.3
	小学生	15	0.0	0.0	100.0
	中学生以上	124	2.4	8.1	89.5
	首都圏在住者	200	2.5	3.5	94.0
	乳幼児・未就学児	11	9.1	18.2	72.7
	小学生	13	0.0	7.7	92.3
	中学生以上	122	1.6	1.6	96.7

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

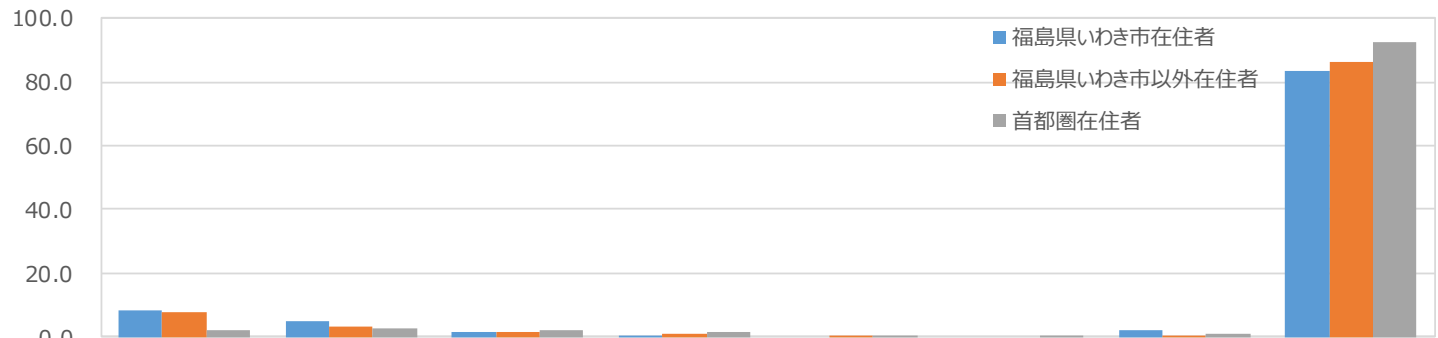
■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q9. では、これらの動画や関連情報をどちらで、見聞きされましたか。（それぞれ複数選択可）

Q9-2. ②「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」

- いわき市在住者と福島県いわき市以外在住者の動画の認知経路は「テレビ」が最も多い。
- 首都圏在住者は「YouTube」が最も多い。
- いずれの地域においても「わからない・覚えていない」が突出しており、明確な認知経路が認識されていない結果。

※動画認知者



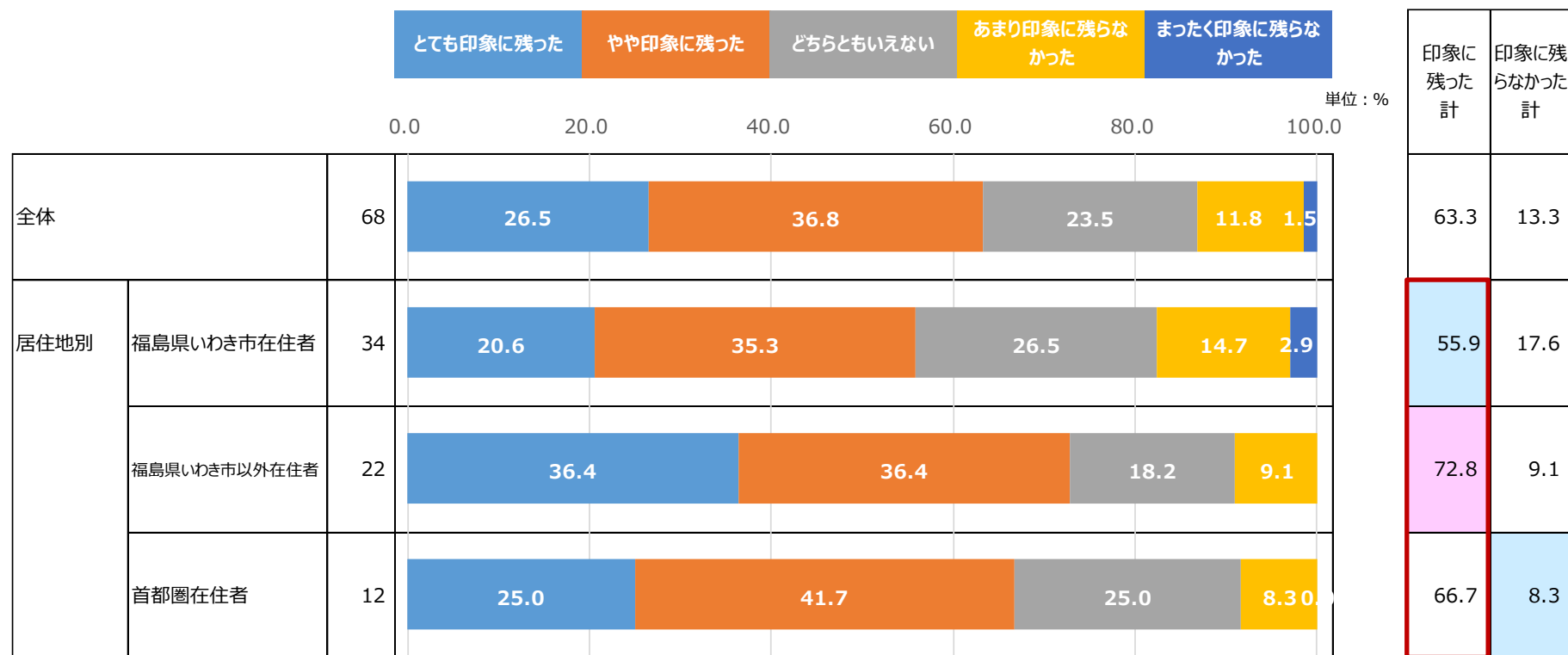
単位 : %		N数	テレビで	YouTubeで	ホームページで	店頭で / パレードなど量販店の	Facebookで	Instagramで	その他	わからない、覚えていない
全体		600	6.2	3.8	1.7	1.0	0.3	0.2	1.2	87.3
居住地別	福島県いわき市在住者	200	8.5	5.0	1.5	0.5	0.0	0.0	2.0	83.5
	福島県いわき市以外在住者	200	8.0	3.5	1.5	1.0	0.5	0.0	0.5	86.0
	首都圏在住者	200	2.0	3.0	2.0	1.5	0.5	0.5	1.0	92.5

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q10. あなたが、この広告をご覧になって、どのような印象を持たれましたか。お気持ちに近いものをお知らせください。（1つ選択）

### Q10-2. ②「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」

- いわき市在住者による印象に残った計（「とても印象に残った」+「やや印象に残った」）は55.9%と全体と比べてやや低い。
- 福島県いわき市以外在住者による、印象に残った計は72.8%に上る。
- 地域別でみると、いわき市在住者よりも福島県いわき市以外在住者と首都圏在住者の方が印象に残ったの数値が高い。



■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

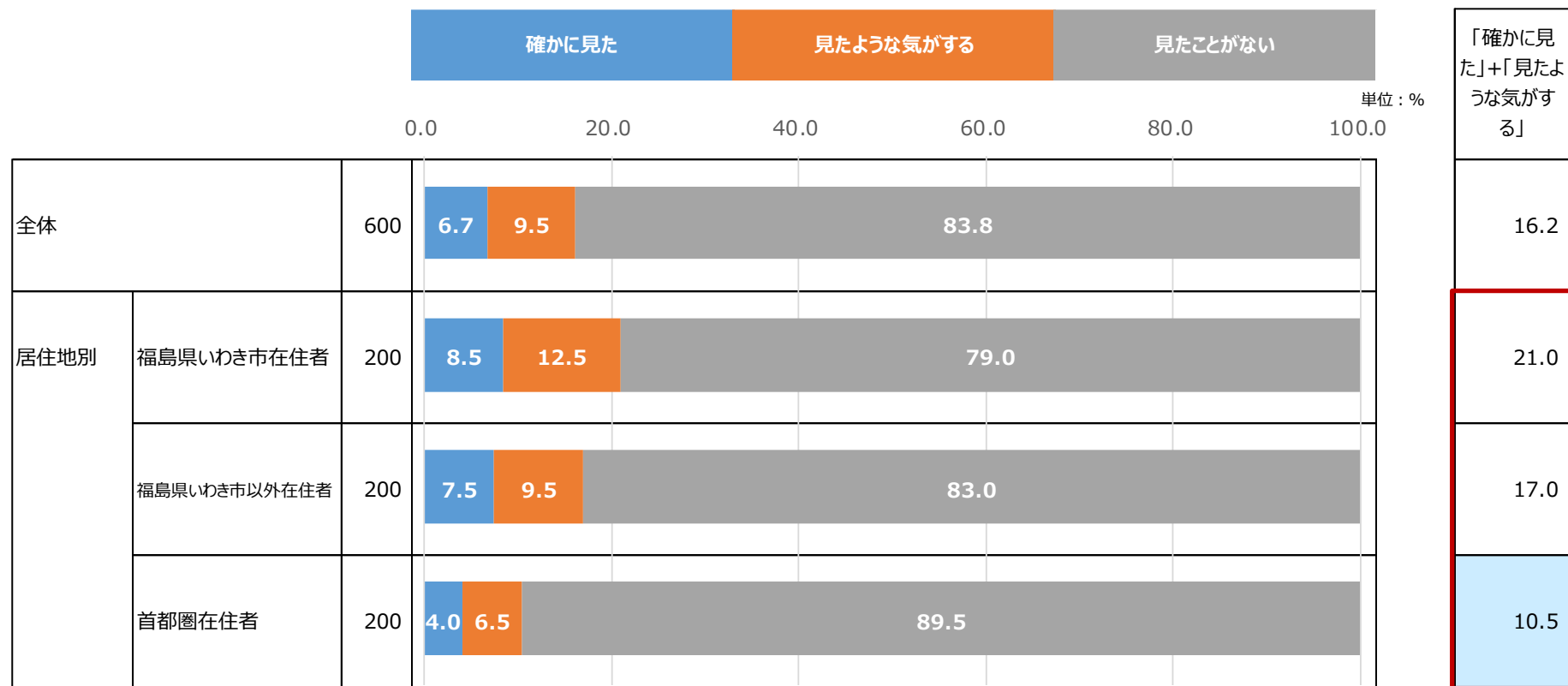
■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所



Q8. あなたは、タレントのあばれる君を起用し、令和4年12月にWeb等で公開された「いわきのめぐみPR動画」や「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」、「あばれる君キャンプ飯動画」をご覧になったことがありますか。（それぞれ1つずつ選択）

Q8-3. ③「あばれる君キャンプ飯動画」

- 「あばれる君キャンプ飯動画」は、いわき市在住者は「確かに見た」+「見たような気がする」が21.0%と全体と比べて約5ポイント高い。
- 認知（「確かに見た」+「見たような気がする」）は、いわき市から離れるほどポイントが低くなっている。



Q8. あなたは、タレントのあばれる君を起用し、令和4年12月にWeb等で公開された「いわきのめぐみPR動画」や「アグリ☆ファイブコラボダンス動画」、「あばれる君キャンプ飯動画」をご覧になったことがありますか。（それぞれ1つずつ選択）

Q8-3. ③「あばれる君キャンプ飯動画」

- 最年少同居家族が乳幼児・未就学児の家庭では、「確かに見た」が全体と比べて高い水準。
- 首都圏在住者で最年少同居家族が小学生以上の家庭では「見たことがない」が90%以上と全体と比べて高い。

単位：％		N 数	確 か に 見 た	見 た よ う な 気 が す る	見 た こ と が な い
全体		600	6.7	9.5	83.8
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	11.5	13.1	75.4
	小学生	52	3.8	9.6	86.5
	中学生以上	348	6.6	9.5	83.9
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	8.5	12.5	79.0
	乳幼児・未就学児	28	14.3	10.7	75.0
	小学生	24	8.3	8.3	83.3
	中学生以上	102	7.8	14.7	77.5
	福島県いわき市以外在住者	200	7.5	9.5	83.0
	乳幼児・未就学児	22	13.6	9.1	77.3
	小学生	15	0.0	13.3	86.7
	中学生以上	124	7.3	9.7	83.1
	首都圏在住者	200	4.0	6.5	89.5
	乳幼児・未就学児	11	0.0	27.3	72.7
	小学生	13	0.0	7.7	92.3
	中学生以上	122	4.9	4.9	90.2

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

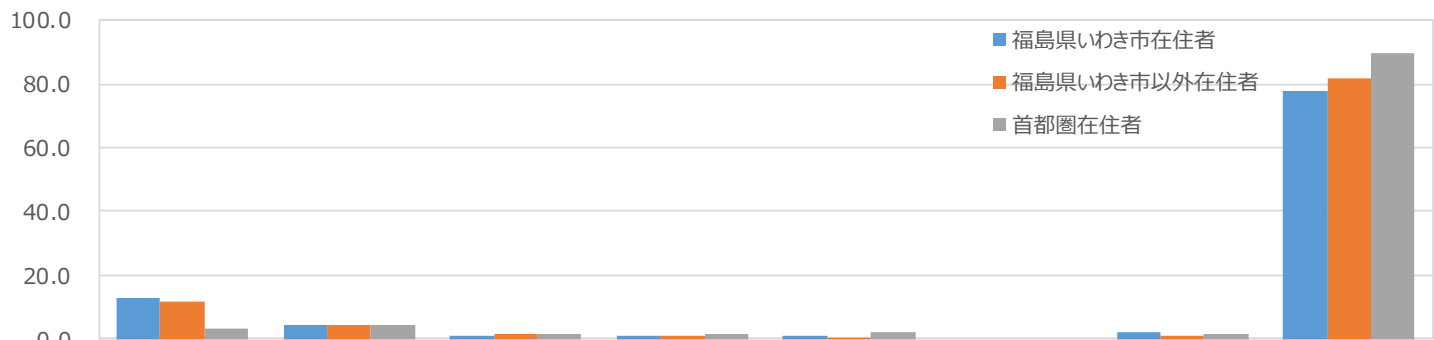
■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q9. では、これらの動画や関連情報をどちらで、見聞きされましたか。（それぞれ複数選択可）

Q9-3. ③「あばれる君キャンプ飯動画」

- いわき市在住者と福島県いわき市以外在住者の動画の認知経路は「テレビ」が10%を超えて最も多い。
- 首都圏在住者は「YouTube」が最も多い。
- いずれの地域においても「わからない・覚えていない」が突出しており、明確な認知経路が認識されていない結果。

※動画認知者



単位：%		N数	テレビで	YouTubeで	スーパーなどで量販店の店頭で	ホームページで	Instagramで	Facebookで	その他	わからない、覚えていない
全体		600	9.5	4.5	1.3	1.2	1.2	0.0	1.5	83.0
居住地別	福島県いわき市在住者	200	13.0	4.5	1.0	1.0	1.0	0.0	2.0	78.0
	福島県いわき市以外在住者	200	12.0	4.5	1.5	1.0	0.5	0.0	1.0	81.5
	首都圏在住者	200	3.5	4.5	1.5	1.5	2.0	0.0	1.5	89.5

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q10. あなたが、この広告をご覧になって、どのような印象を持たれましたか。お気持ちに近いものをお知らせください。（1つ選択）  
Q10-3. ③「あばれる君キャンプ飯動画」

- いわき市在住者及び福島県いわき市以外在住者による印象に残った計（「とても印象に残った」+「やや印象に残った」）は66.6%、67.7%と全体と比べてやや低い。
- 首都圏在住者はそれ以外の地域と比べて印象に残った計が10ポイント以上高い。



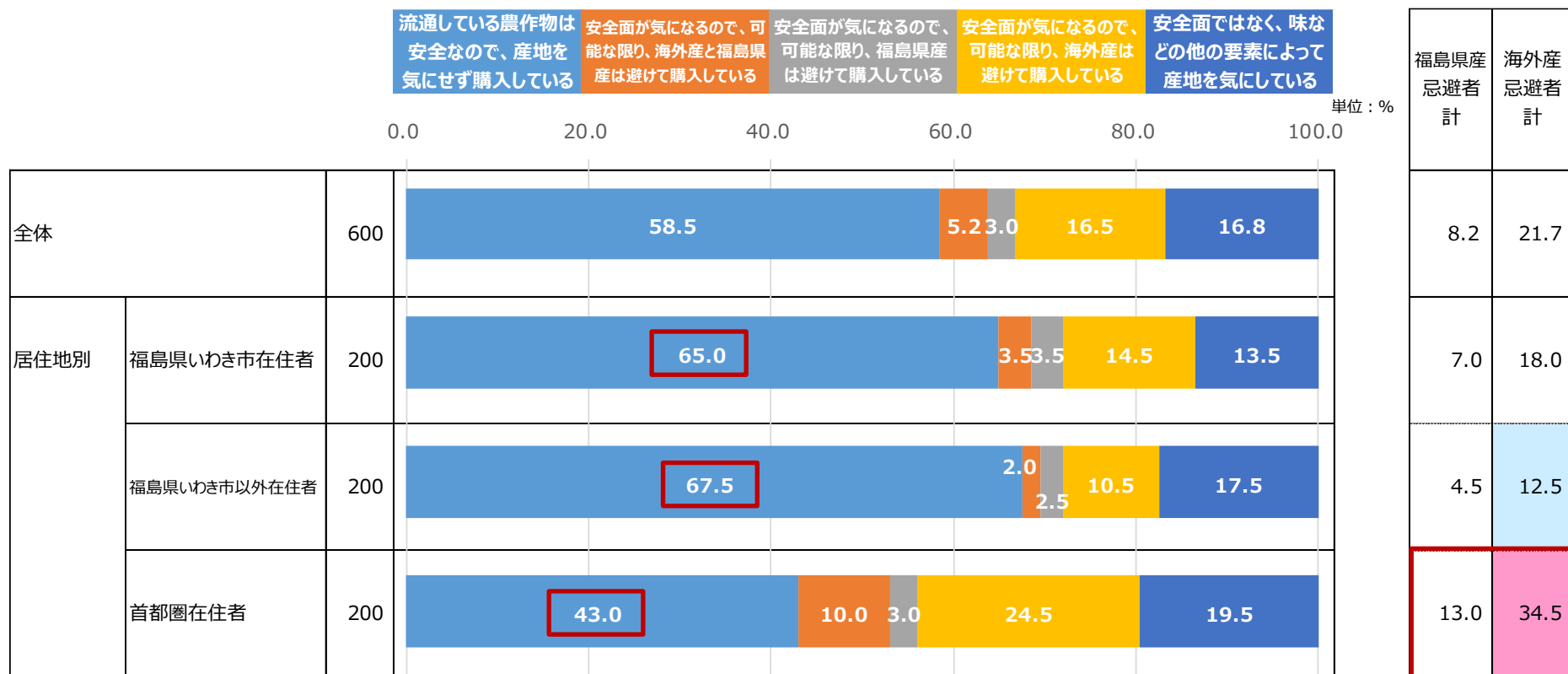
		印象に残った計	印象に残らなかった計
全体	97	70.1	9.3
居住地別	福島県いわき市在住者	66.6	11.9
	福島県いわき市以外在住者	67.7	5.9
	首都圏在住者	81.0	9.6

印象に残った計	印象に残らなかった計
70.1	9.3
66.6	11.9
67.7	5.9
81.0	9.6



Q11. 安全面を考慮した農作物の購入について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。（1つ選択）

- 全地域で「流通している農作物は安全なので、産地を気にせず購入している」という回答が最も多い。ただし地域別で比べると、首都圏在住者は福島県在住者に比べて数値が低い水準。
- また首都圏在住者は全体と比べても福島県産忌避者と海外産忌避者が多い。特に海外産忌避者計は34.5%と全体に比べて10ポイント以上高い。



■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q11. 安全面を考慮した農作物の購入について、現在のあなたのお考えに最も近いものを1つお知らせください。（1つ選択）

- いわき市在住、福島県いわき市以外在住の中学生以上の家庭では「流通している農作物は安全なので、産地を気にせず購入している」が全体に比べて10ポイント以上高い。一方で首都圏在住の中学生以上の家庭では全体と比べて10ポイント以上数値が低い。
- 「産地を気にせず購入している」は小学生以下の家庭が全体と比べて数値が低い。
- 首都圏在住者のいずれの家庭でも、海外産忌避者計が全体と比べて10ポイント以上高く、特徴的。
- 首都圏在住者の小学生以下の家庭では、福島県産忌避者計が全体と比べて10ポイント以上高い。

単位：％		N 数	購 入 の 通 し で て い る 産 地 を 農 作 物 は 安 全	避 け 限 全 面 購 、 が 入 海 外 に て 産 の 福 島 、 産 可 は 能	購 入 限 全 面 し り 面 て 、 が い 福 島 に る 県 産 は の 避 け 、 可 能	購 入 限 全 面 し り 面 て 、 海 外 に 産 は の 避 け 、 可 能	気 他 の 全 面 に し 要 素 で は な く 、 味 な ど の	福島県産 忌避者 計	海外産 忌避者 計
全体		600	58.5	5.2	3.0	16.5	16.8	8.2	21.7
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	57.4	6.6	3.3	19.7	13.1	9.9	26.3
	小学生	52	50.0	5.8	1.9	17.3	25.0	7.7	23.1
	中学生以上	348	57.8	5.2	3.2	17.8	16.1	8.4	23.0
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	65.0	3.5	3.5	14.5	13.5	7.0	18.0
	乳幼児・未就学児	28	67.9	3.6	3.6	14.3	10.7	7.2	17.9
	小学生	24	54.2	4.2	0.0	16.7	25.0	4.2	20.9
	中学生以上	102	68.6	3.9	3.9	16.7	6.9	7.8	20.6
	福島県いわき市以外在住者	200	67.5	2.0	2.5	10.5	17.5	4.5	12.5
	乳幼児・未就学児	22	50.0	4.5	4.5	22.7	18.2	9.0	27.2
	小学生	15	53.3	0.0	0.0	13.3	33.3	0.0	13.3
	中学生以上	124	68.5	2.4	2.4	9.7	16.9	4.8	12.1
	首都圏在住者	200	43.0	10.0	3.0	24.5	19.5	13.0	34.5
	乳幼児・未就学児	11	45.5	18.2	0.0	27.3	9.1	18.2	45.5
	小学生	13	38.5	15.4	7.7	23.1	15.4	23.1	38.5
	中学生以上	122	37.7	9.0	3.3	27.0	23.0	12.3	36.0

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

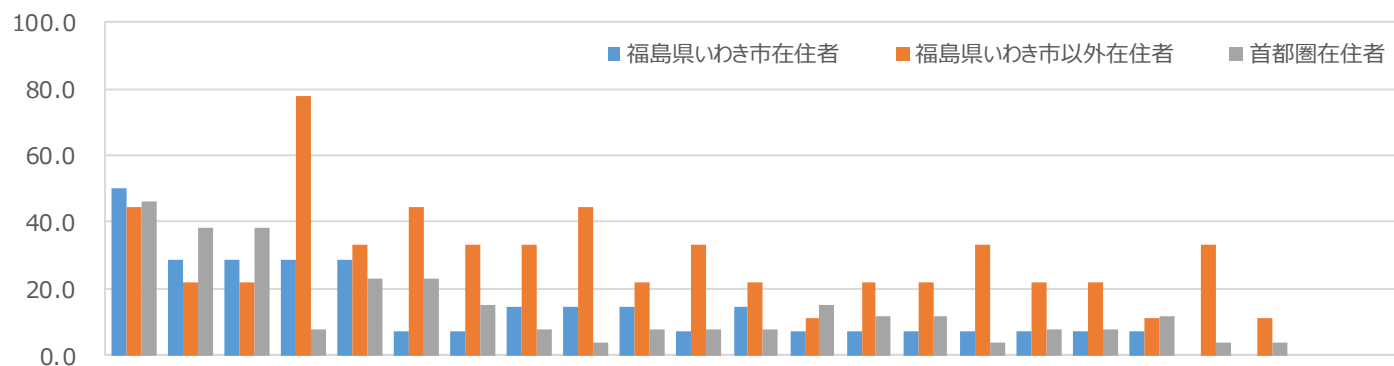
■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q12. あなたが、農作物や水産物について、福島県産を避けて購入されているのは、具体的にどの食材ですか。（複数選択可）

- 全体では、福島県産で避けて購入している食材は「水産物全般」が46.9%で最も高く、次いで「野菜類全般」と「果物全般」が32.7%で続く。
- 地域別でみると、福島県いわき市以外在住者は他地域に比べて各農作物や水産物の数値が高い傾向。特に「しいたけ」は他の地域と比べても突出して高い。一方でいわき市在住者は「お米」の数値が全体と比べて10ポイント以上低い。また首都圏在住者は「しいたけ」と「柿」の数値が全体と比べて10ポイント以上低い。

※福島産食材忌避者



単位：％		N 数	水産物全般	野菜類全般	果物全般	しいたけ	魚類	お米	貝類	小松菜	柿	トマト	アスパラガス	ねぎ	桃	梨	ぶどう	大豆	きゅうり	りんご	甲殻類	そば・麦	すもも	その他野菜	その他果物
全体		49	46.9	32.7	32.7	26.5	26.5	22.4	16.3	14.3	14.3	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	10.2	10.2	10.2	10.2	8.2	4.1	0.0	0.0
居住地別	福島県いわき市在住者	14	50.0	28.6	28.6	28.6	7.1	7.1	14.3	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	福島県いわき市以外在住者	9	44.4	22.2	22.2	77.8	33.3	44.4	33.3	33.3	44.4	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0
	首都圏在住者	26	46.2	38.5	38.5	7.7	23.1	23.1	15.4	7.7	3.8	7.7	7.7	7.7	15.4	11.5	11.5	3.8	7.7	7.7	11.5	3.8	3.8	0.0	0.0

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q12. あなたが、農作物や水産物について、福島県産を避けて購入されているのは、具体的にどの食材ですか。（複数選択可）

- いずれの軸も回答者数（N数）が30を下回る参考値のため、コメント未記入。

※福島産食材忌避者

単位：％		N数	水産物全般	野菜類全般	果物全般	しいたけ	魚類	お米	貝類	小松菜	柿	トマト	アスパラガス	ねぎ	桃	梨	ぶどう	大豆	きゅうり	りんご	甲殻類	そば・麦	すもも	その他野菜	その他果物
全体		49	46.9	32.7	32.7	26.5	26.5	22.4	16.3	14.3	14.3	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	10.2	10.2	10.2	10.2	8.2	4.1	0.0	0.0
同居家族内の最年少者年齢別	乳幼児・未就学児	6	33.3	16.7	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	小学生	4	50.0	50.0	50.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	29	51.7	31.0	31.0	27.6	31.0	17.2	10.3	10.3	13.8	6.9	10.3	6.9	6.9	6.9	10.3	10.3	3.4	6.9	6.9	6.9	3.4	0.0	0.0
居住地×同居家族内の最年少者年齢別	福島県いわき市在住者	14	50.0	28.6	28.6	28.6	7.1	7.1	14.3	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	乳幼児・未就学児	2	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	8	50.0	25.0	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福島県いわき市以外在住者	9	44.4	22.2	22.2	77.8	33.3	44.4	33.3	33.3	44.4	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0
	乳幼児・未就学児	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	6	50.0	16.7	16.7	83.3	33.3	50.0	16.7	33.3	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	首都圏在住者	26	46.2	38.5	38.5	7.7	23.1	23.1	15.4	7.7	3.8	7.7	7.7	7.7	15.4	11.5	11.5	3.8	7.7	7.7	11.5	3.8	3.8	0.0	0.0
	乳幼児・未就学児	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	15	53.3	40.0	40.0	6.7	26.7	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

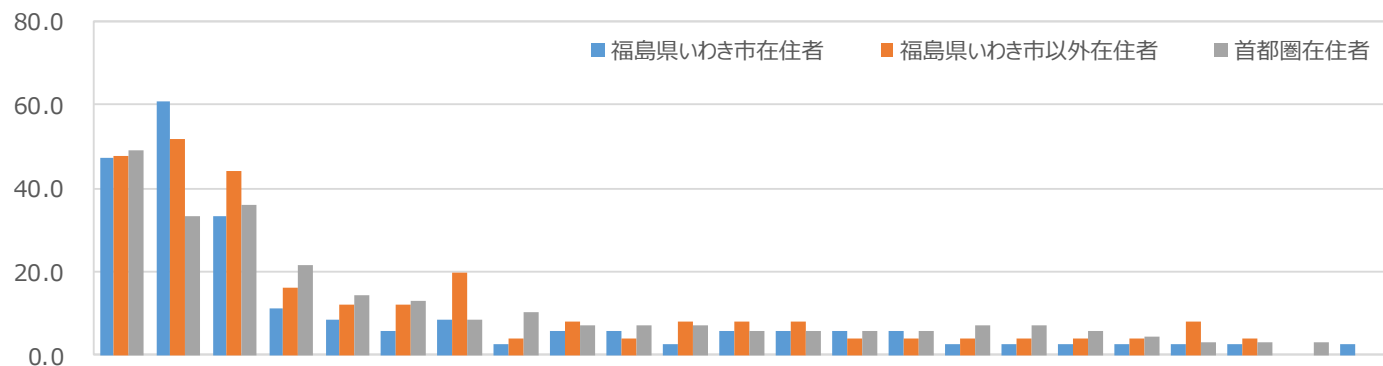
■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所



Q13. あなたが、農作物や水産物について、海外産を避けて購入されているのは、具体的にどの食材ですか。（複数選択可）

- 海外産で避けて購入している食材は「野菜類全般」が48.5%で最も高く、次いで「水産物全般」が44.6%、「果物全般」が36.9%で続く。
- いわき市在住者と福島県いわき市以外在住者は「水産物全般」の数値が全体と比べて5～10ポイント以上高い。一方で首都圏在住者は前述の項目の数値が全体と比べて10ポイント以上低く、福島県内と首都圏で傾向が異なる結果。またいわき市在住者は「お米」と「しいたけ」の数値が全体と比べて5ポイント以上低く、福島県いわき市以外在住者では「果物全般」と「魚類」の数値が全体と比べて5ポイント以上高い。

※海外産食材忌避者



単位：％		N数	野菜類全般	水産物全般	果物全般	お米	貝類	しいたけ	魚類	そば・麦	きゅうり	トマト	りんご	ぶどう	柿	ねぎ	小松菜	桃	梨	大豆	アスパラガス	すもも	甲殻類	その他果物	その他野菜
全体		130	48.5	44.6	36.9	17.7	12.3	10.8	10.8	6.9	6.9	6.2	6.2	6.2	6.2	5.4	5.4	5.4	5.4	4.6	3.8	3.8	3.1	1.5	0.8
居住地別	福島県いわき市在住者	36	47.2	61.1	33.3	11.1	8.3	5.6	8.3	2.8	5.6	5.6	2.8	5.6	5.6	5.6	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	0.0	2.8
	福島県いわき市以外在住者	25	48.0	52.0	44.0	16.0	12.0	12.0	20.0	4.0	8.0	4.0	8.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0	0.0	0.0
	首都圏在住者	69	49.3	33.3	36.2	21.7	14.5	13.0	8.7	10.1	7.2	7.2	7.2	5.8	5.8	5.8	5.8	7.2	7.2	5.8	4.3	2.9	2.9	2.9	0.0

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q13. あなたが、農作物や水産物について、海外産を避けて購入されているのは、具体的にどの食材ですか。（複数選択可）

- 「野菜類全般」は最年少同居家族が小学生以下の家庭の数値が全体と比べても5ポイント以上低い。
- また最年少同居家族が乳幼児・未就学児の家庭では「水産物全般」、「果物全般」といった全体では上位に位置する項目の数値が低い水準。一方で小学生の家庭では「水産物全般」「ぶどう」「柿」「すもも」の数値が全体と比べて10ポイント以上高い。

※海外産食材忌避者

単位：%		N数	野菜類全般	水産物全般	果物全般	お米	貝類	しいたけ	魚類	そば・麦	きゅうり	トマト	りんご	ぶどう	柿	ねぎ	小松菜	桃	梨	大豆	アスパラガス	すもも	甲殻類	その他果物	その他野菜
全体		130	48.5	44.6	36.9	17.7	12.3	10.8	10.8	6.9	6.9	6.2	6.2	6.2	6.2	5.4	5.4	5.4	5.4	4.6	3.8	3.8	3.1	1.5	0.8
同居家族内の最年少者年齢別	乳幼児・未就学児	16	31.3	37.5	25.0	12.5	0.0	6.3	18.8	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3
	小学生	12	41.7	58.3	33.3	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	80	48.8	43.8	38.8	17.5	18.8	13.8	11.3	7.5	7.5	7.5	7.5	6.3	7.5	6.3	6.3	6.3	6.3	5.0	2.5	1.3	5.0	2.5	0.0
居住地×同居家族内の最年少者年齢別	福島県いわき市在住者	36	47.2	61.1	33.3	11.1	8.3	5.6	8.3	2.8	5.6	5.6	2.8	5.6	5.6	5.6	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	0.0	2.8
	乳幼児・未就学児	5	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	小学生	5	40.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	21	47.6	61.9	42.9	9.5	14.3	4.8	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0
	福島県いわき市以外在住者	25	48.0	52.0	44.0	16.0	12.0	12.0	20.0	4.0	8.0	4.0	8.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0	0.0	0.0
	乳幼児・未就学児	6	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	小学生	2	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	15	53.3	40.0	46.7	26.7	20.0	20.0	20.0	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	首都圏在住者	69	49.3	33.3	36.2	21.7	14.5	13.0	8.7	10.1	7.2	7.2	7.2	5.8	5.8	5.8	5.8	7.2	7.2	5.8	4.3	2.9	2.9	2.9	0.0
	乳幼児・未就学児	5	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	5	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	44	47.7	36.4	34.1	18.2	20.5	15.9	6.8	9.1	9.1	9.1	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	4.5	2.3	4.5	4.5	0.0

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

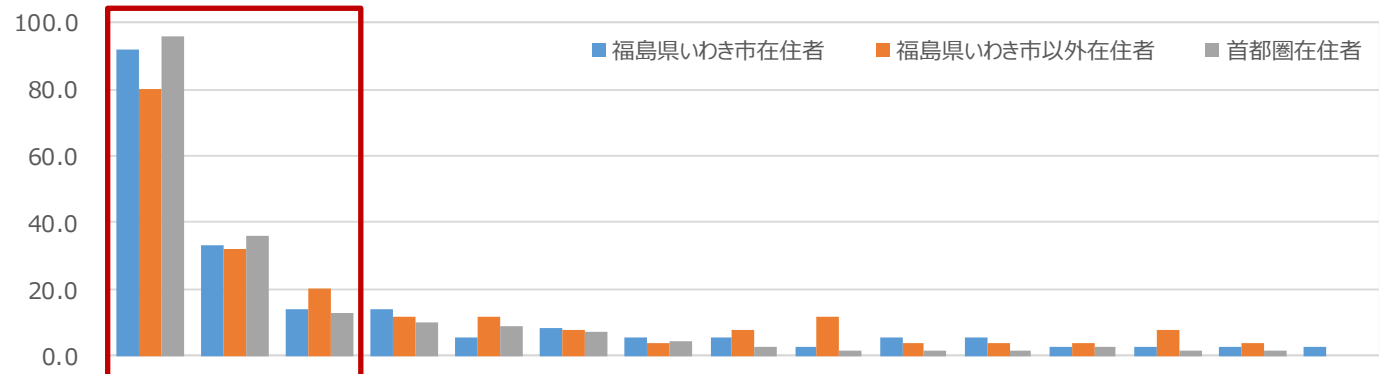
■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q14. ではあなたが、農作物や水産物について、海外産を避けて購入されているのは、具体的にどの国のものですか。（複数選択可）

- 具体的に海外産を避けている国は、全体で「中国」が突出して高く91.5%に上る。2位は「韓国」で34.6%、3位が「ロシア」で14.6%。
- 福島県いわき市以外在住者は「中国」の数値が全体と比べて10ポイント以上低く、「ロシア」と「フランス」の数値が5ポイント以上高い。

※海外産食材忌避者



単位：%		N数	中国	韓国	ロシア	米国	インド	メキシコ	イタリア	カナダ	フランス	ドイツ	イギリス	スペイン	ベルギー	オランダ	その他
全体		130	91.5	34.6	14.6	11.5	8.5	7.7	4.6	4.6	3.8	3.1	3.1	3.1	3.1	2.3	0.8
居住地別	福島県いわき市在住者	36	91.7	33.3	13.9	13.9	5.6	8.3	5.6	5.6	2.8	5.6	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8
	福島県いわき市以外在住者	25	80.0	32.0	20.0	12.0	12.0	8.0	4.0	8.0	12.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0	0.0
	首都圏在住者	69	95.7	36.2	13.0	10.1	8.7	7.2	4.3	2.9	1.4	1.4	1.4	2.9	1.4	1.4	0.0

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q14. ではあなたが、農作物や水産物について、海外産を避けて購入されているのは、具体的にどの国のものですか。（複数選択可）

- 最年少同居家族が乳幼児・未就学児の家庭では「中国」の数値が全体と比べて10ポイント以上低く、一方で「ロシア」、「米国」、「インド」、「メキシコ」、「カナダ」、「フランス」、「ベルギー」といった全体では中位～下位に位置する項目の数値が高い水準。
- 一方で小学生の家庭では「中国」と「メキシコ」の数値が全体と比べて5ポイント以上高く、「韓国」、「ロシア」、「米国」は数値が全体と比べて10ポイント以上低い。

※海外産食材忌避者

単位：％		N 数	中 国	韓 国	ロ シ ア	米 国	イン ド	メ キ シ コ	イ タ リ ア	カ ナ ダ	フ ラ ン ス	ド イ ツ	イ ギ リ ス	ス ペ イ ン	ベル ギー	オ ラン ダ	そ の 他
全体		130	91.5	34.6	14.6	11.5	8.5	7.7	4.6	4.6	3.8	3.1	3.1	3.1	3.1	2.3	0.8
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	16	75.0	31.3	31.3	18.8	18.8	25.0	6.3	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3	0.0
	小学生	12	100.0	16.7	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	80	93.8	36.3	12.5	13.8	7.5	3.8	3.8	2.5	1.3	1.3	2.5	1.3	1.3	1.3	1.3
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	36	91.7	33.3	13.9	13.9	5.6	8.3	5.6	5.6	2.8	5.6	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8
	乳幼児・未就学児	5	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	小学生	5	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	21	95.2	38.1	4.8	19.0	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
	福島県いわき市以外在住者	25	80.0	32.0	20.0	12.0	12.0	8.0	4.0	8.0	12.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0	0.0
	乳幼児・未就学児	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	小学生	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	15	86.7	33.3	33.3	13.3	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0
	首都圏在住者	69	95.7	36.2	13.0	10.1	8.7	7.2	4.3	2.9	1.4	1.4	1.4	2.9	1.4	1.4	0.0
	乳幼児・未就学児	5	100.0	40.0	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	5	100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生以上	44	95.5	36.4	9.1	11.4	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

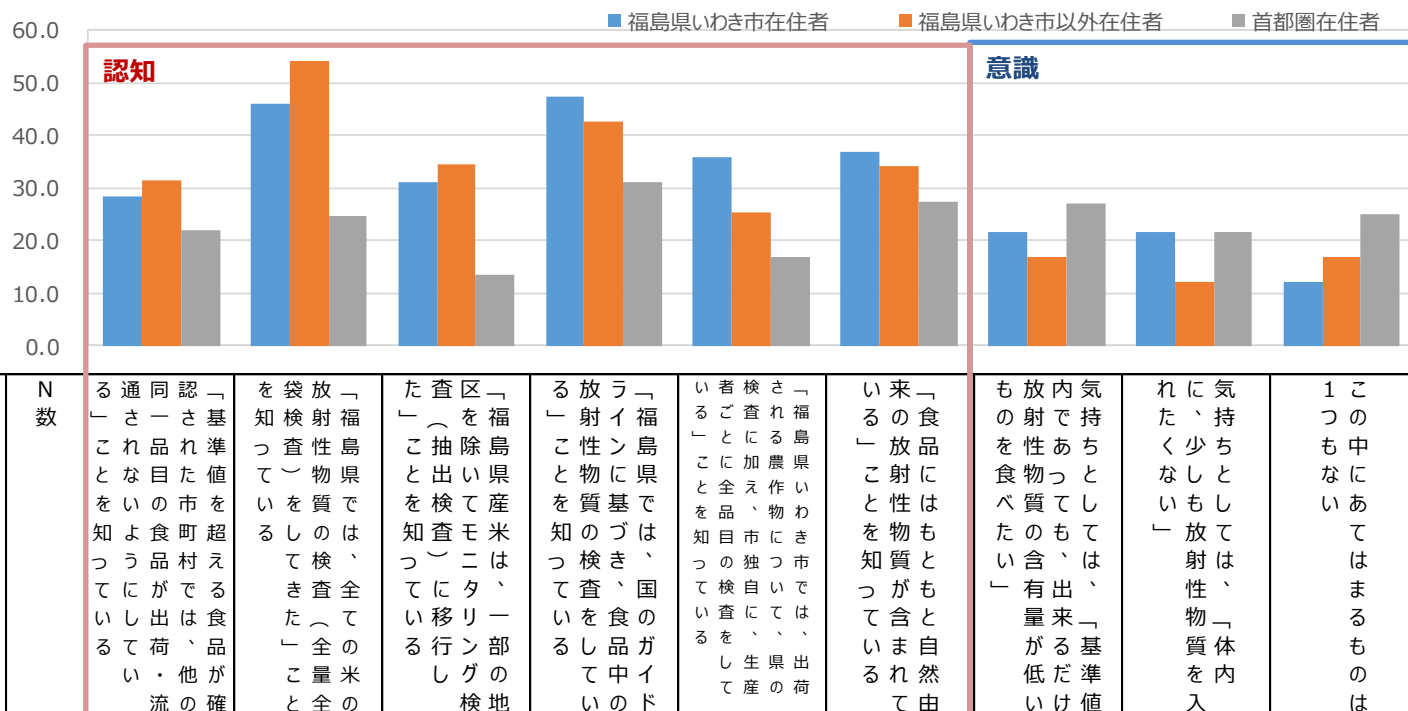
■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q15. 放射性物質に対する知識や思いについて、現在のあなたのお考えに近いものをすべてお知らせください。（複数選択可）

- いわき市在住者は「福島県では、国のガイドラインに基づき、食品中の放射性物質の検査をしていることを知っている」が47.5%で最も高い。
- 福島県いわき市以外在住者では「福島県では、全ての米の放射性物質の検査をしてきたことを知っている」が54.0%で突出。意識面でみると「気持ちとしては、体内に少しも放射性物質を入れたくない」が全体と比べて5ポイント以上低い。
- 首都圏在住者においては各項目の数値が総じて低く、意識面で「気持ちとしては、基準値内であっても、出来るだけ放射性物質の含有量が低いものを食べたい」が他の地域に比べて高い水準。



単位：%		N数	「福島県では、国のガイドラインに基づき、食品中の放射性物質の検査をしていることを知っている」	「福島県では、全ての米の放射性物質の検査をしてきたことを知っている」	「気持ちとしては、基準値内であっても、出来るだけ放射性物質の含有量が低いものを食べたい」	「気持ちとしては、放射性物質を体内に入	「放射性物質の検査をしていることを知っている」	「放射性物質の検査をしていることを知っている」	「放射性物質の検査をしていることを知っている」	「放射性物質の検査をしていることを知っている」
全体		600	27.3	41.5	26.3	40.3	26.2	32.8	21.8	18.3
居住地別	福島県いわき市在住者	200	28.5	46.0	31.0	47.5	36.0	37.0	21.5	12.0
	福島県いわき市以外在住者	200	31.5	54.0	34.5	42.5	25.5	34.0	17.0	17.0
	首都圏在住者	200	22.0	24.5	13.5	31.0	17.0	27.5	27.0	25.0

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所   ■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q15. 放射性物質に対する知識や思いについて、現在のあなたのお考えに近いものをすべてお知らせください。（複数選択可）

- いわき市在住の中学生以上の家庭や福島県いわき市以外在住の小学生以上の家庭では、認知の数値が総じて高く、放射性物質に対する広い知識を有している傾向がうかがえる。一方で首都圏在住者の中学生以上の家庭は各項目の数値が総じて低く、放射性物質に対する福島県の取り組み認知は低く、意識の面でも「気持ちとしては、基準値内であっても、出来るだけ放射性物質の含有量が低いものを食べたい」といった意識が他の地域に比べて高い。

		N 数	認知				意識				
単位：％			知らない品目が多いという食料品流通の状況を確認	放射性物質の検査結果を確認	福島県産品の検査結果を確認	放射性物質の検査結果を確認	福島県産品の検査結果を確認	放射性物質の検査結果を確認	放射性物質の検査結果を確認	放射性物質の検査結果を確認	放射性物質の検査結果を確認
全体		600	27.3	41.5	26.3	40.3	26.2	32.8	21.8	18.3	18.0
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	19.7	37.7	27.9	44.3	31.1	21.3	19.7	21.3	18.0
	小学生	52	30.8	57.7	30.8	46.2	28.8	38.5	30.8	25.0	9.6
	中学生以上	348	30.2	41.4	27.3	44.0	27.0	35.9	23.6	17.0	16.1
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	28.5	46.0	31.0	47.5	36.0	37.0	21.5	21.5	12.0
	乳幼児・未就学児	28	17.9	35.7	28.6	50.0	35.7	28.6	25.0	28.6	14.3
	小学生	24	25.0	62.5	25.0	37.5	25.0	37.5	33.3	37.5	4.2
	中学生以上	102	37.3	49.0	36.3	55.9	40.2	43.1	18.6	16.7	10.8
	福島県いわき市以外在住者	200	31.5	54.0	34.5	42.5	25.5	34.0	17.0	12.0	17.0
	乳幼児・未就学児	22	18.2	50.0	40.9	40.9	22.7	18.2	13.6	18.2	18.2
	小学生	15	40.0	60.0	40.0	53.3	33.3	40.0	26.7	13.3	13.3
	中学生以上	124	33.9	56.5	33.9	46.8	29.0	36.3	17.7	11.3	15.3
	首都圏在住者	200	22.0	24.5	13.5	31.0	17.0	27.5	27.0	21.5	25.0
	乳幼児・未就学児	11	27.3	18.2	0.0	36.4	36.4	9.1	18.2	9.1	27.3
	小学生	13	30.8	46.2	30.8	53.8	30.8	38.5	30.8	15.4	15.4
	中学生以上	122	20.5	19.7	13.1	31.1	13.9	29.5	33.6	23.0	21.3

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

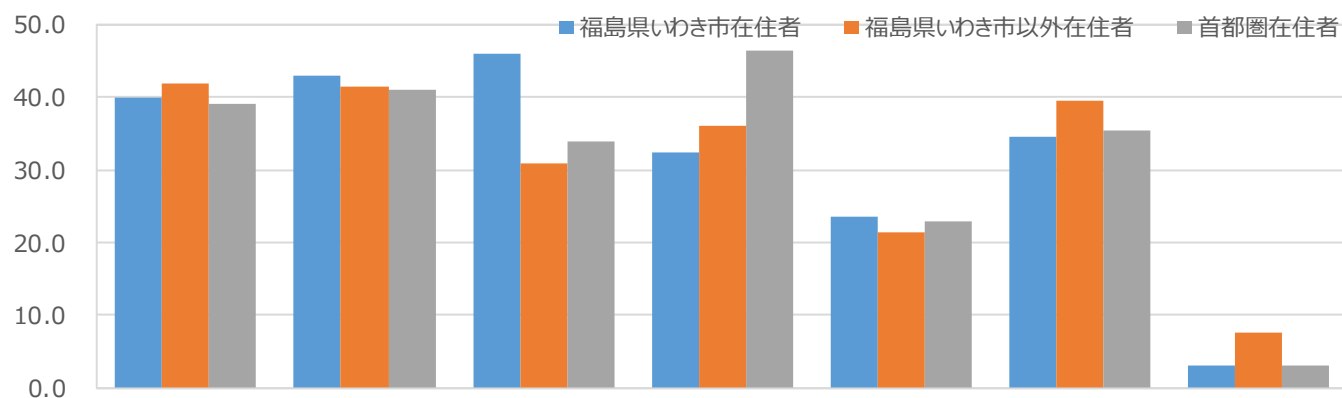
■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所



Q16. あなたは、福島県いわき市の食品(農作物)に関する風評被害払拭のためには、どのような情報が必要だと思いますか。以下の中から、あてはまるものをすべてお知らせください。(複数選択可)

- いわき市在住者は「どれくらいの頻度で検査しているのかという検査体制の詳細」、福島県いわき市以外在住者は「購入対象となる農産物の検査結果の情報」、首都圏在住者は「食品の放射性物質の基準値の妥当性の情報」が最も高いといったように、地域別で必要と思われる情報が異なるが、どの地域でも、検査体制や結果、基準値など、安全性の確認に直結する情報が必要とされていることがうかがえる。



単位 : %		N 数	購入対象となる農産物の検査結果の情報	検査体制の詳細	検査結果の情報	放射性物質の基準値の妥当性	食品の放射性物質の基準値	購入対象となる農産物の検査結果	味や鮮度などの魅力	その他
全体		600	40.3	41.8	37.0	38.3	22.7	36.5	4.5	
居住地別	福島県いわき市在住者	200	40.0	43.0	46.0	32.5	23.5	34.5	3.0	
	福島県いわき市以外在住者	200	42.0	41.5	31.0	36.0	21.5	39.5	7.5	
	首都圏在住者	200	39.0	41.0	34.0	46.5	23.0	35.5	3.0	

■ 色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■ 色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所



Q16. あなたは、福島県いわき市の食品(農作物)に関する風評被害払拭のためには、どのような情報が必要だと思いますか。以下の中から、あてはまるものをすべてお知らせください。(複数選択可)

- 最年少同居家族が乳幼児・未就学児の家庭では「生産者の顔が分かる情報」が全体に比べて5ポイント以上高い。小学生の家庭では「農産物の検査結果の情報」が5ポイント以上高い。
- いわき市在住の最年少同居家族が乳幼児・未就学児の家庭では「味や鮮度などの魅力が分かる情報」を除く項目の数値が総じて高い。
- 福島県いわき市以外在住者の乳幼児・未就学児の家庭では「味や鮮度などの魅力がわかる情報」以外の数値が全体的に低く、小学生の家庭では「農産物の検査結果の情報」や「味や鮮度などの魅力が分かる情報」の数値が高い。
- 首都圏在住者では小学生以上の家庭で「検査体制の詳細」や「食品の放射性物質の基準値の妥当性」の数値が高い。

単位：％		N 数	の購 検入 査対 象と なる 情報 農 産 物	査しど 体ての 制いよ のるう 詳のな 細か方 と法 いで う検 査	検 査 ど 査 し れ 体 て く 制 い ら の り の 詳 の の 細 か 頻 と 度 い で う 検	当ベ準食 性ク値品 のレ(の 情ルー放 報／般射 k食性 g品物 1質 の0の 妥0基	顔いど がるの 分かよ かとう るいな 情う人 報生が 産作 者っ のて	分味 かや る鮮 情度 報な どの 魅力 が	そ の 他
全体		600	40.3	41.8	37.0	38.3	22.7	36.5	4.5
同居家族内の 最年少者 年齢別	乳幼児・未就学児	61	36.1	41.0	34.4	36.1	27.9	34.4	4.9
	小学生	52	48.1	46.2	36.5	42.3	21.2	38.5	5.8
	中学生以上	348	42.5	44.0	37.9	38.5	22.7	37.1	3.4
居住地× 同居家族内の 最年少者 年齢別	福島県いわき市在住者	200	40.0	43.0	46.0	32.5	23.5	34.5	3.0
	乳幼児・未就学児	28	46.4	50.0	42.9	46.4	32.1	25.0	3.6
	小学生	24	41.7	41.7	37.5	29.2	12.5	29.2	8.3
	中学生以上	102	43.1	46.1	52.9	28.4	24.5	37.3	2.0
	福島県いわき市以外在住者	200	42.0	41.5	31.0	36.0	21.5	39.5	7.5
	乳幼児・未就学児	22	31.8	31.8	22.7	27.3	22.7	45.5	9.1
	小学生	15	73.3	46.7	40.0	46.7	26.7	53.3	6.7
	中学生以上	124	41.9	41.9	29.0	34.7	21.8	40.3	5.6
	首都圏在住者	200	39.0	41.0	34.0	46.5	23.0	35.5	3.0
	乳幼児・未就学児	11	18.2	36.4	36.4	27.3	27.3	36.4	0.0
	小学生	13	30.8	53.8	30.8	61.5	30.8	38.5	0.0
	中学生以上	122	42.6	44.3	34.4	50.8	22.1	33.6	2.5

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

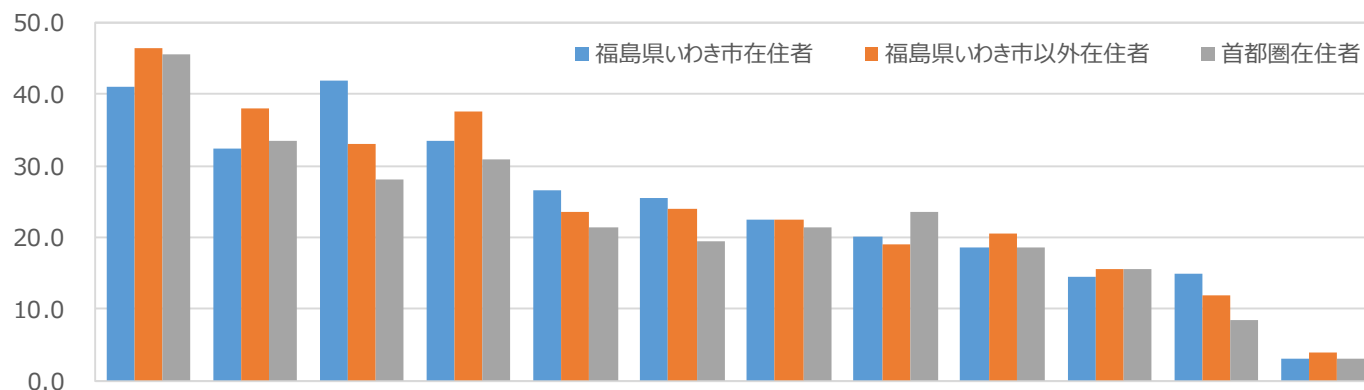
■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所





Q17. あなたは、福島県いわき市の食品(農作物)に関する風評被害払拭のためには、どのような活動が必要だと思いますか。以下の中から、あてはまるものをすべてお知らせください。(複数選択可)

- 福島県いわき市以外在住者と首都圏在住者は「食品の検査結果の公表」が最も高い。
- いわき市在住者では「いわき市産の魅力PR」が最も高く、上記の2地域とは異なる傾向。また同項目は首都圏在住者でみると、全体と比べて数値が5ポイント以上低く、いわき市産の魅力をテレビやラジオ等によりPRする取組は首都圏よりも福島県内での受容性が高い様子。
- 首都圏在住者では「食品の安全性に対する特設ページの作成」が福島県内在住者よりも高い。



単位：％		N数	食品の検査結果の公表	食品の検査体制の実施	産地の魅力PR	情報発信	安全性に関する取組	有名産地の情報発信	安全な販売促進	量販店の安全性の確保	食品の安全性に関する取組	第三者認証の取得	市場での表示	その他
全体		600	44.3	34.7	34.3	34.0	23.8	23.0	22.2	20.8	19.2	15.2	11.8	3.3
居住地別	福島県いわき市在住者	200	41.0	32.5	42.0	33.5	26.5	25.5	22.5	20.0	18.5	14.5	15.0	3.0
	福島県いわき市以外在住者	200	46.5	38.0	33.0	37.5	23.5	24.0	22.5	19.0	20.5	15.5	12.0	4.0
	首都圏在住者	200	45.5	33.5	28.0	31.0	21.5	19.5	21.5	23.5	18.5	15.5	8.5	3.0

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q17. あなたは、福島県いわき市の食品(農作物)に関する風評被害払拭のためには、どのような活動が必要だと思いますか。以下の中から、あてはまるものをすべてお知らせください。(複数選択可)

- 「食品の検査結果の公表」は最年少同居家族が小学生以上の家庭の数値が高い。特に同項目は福島県いわき市以外在住者の小学生の家庭と首都圏在住者の中学生以上の家庭の数値が高い。一方でいわき市在住者と首都圏在住者の小学生以下の家庭では同項目の数値が全体と比べても低い。

単位：%		N数	食品の検査結果の公表	状況品の検査体制、実施	魅力福島県、いわき市等産のよ	情報発信に向けた取材	安全性の開催する地域イ	有名人や有識者による	全開催、販売促進店でのア	特設品の安全作に対する	の報載、の安全生産に関する声	得第三者認証GAPの取	ス市場等による量販店や	その他
全体		600	44.3	34.7	34.3	34.0	23.8	23.0	22.2	20.8	19.2	15.2	11.8	3.3
同居家族内の最年少者年齢別	乳幼児・未就学児	61	27.9	34.4	29.5	29.5	23.0	19.7	29.5	18.0	27.9	13.1	11.5	3.3
	小学生	52	40.4	40.4	32.7	38.5	25.0	30.8	26.9	28.8	17.3	13.5	19.2	3.8
	中学生以上	348	48.6	35.1	37.6	33.6	24.7	21.6	20.4	21.3	18.4	14.7	10.9	3.2
居住地×同居家族内の最年少者年齢別	福島県いわき市在住者	200	41.0	32.5	42.0	33.5	26.5	25.5	22.5	20.0	18.5	14.5	15.0	3.0
	乳幼児・未就学児	28	25.0	28.6	35.7	35.7	28.6	21.4	35.7	17.9	32.1	10.7	14.3	3.6
	小学生	24	29.2	29.2	33.3	25.0	16.7	25.0	16.7	20.8	4.2	12.5	20.8	8.3
	中学生以上	102	47.1	37.3	50.0	38.2	28.4	27.5	21.6	22.5	18.6	15.7	14.7	2.0
	福島県いわき市以外在住者	200	46.5	38.0	33.0	37.5	23.5	24.0	22.5	19.0	20.5	15.5	12.0	4.0
	乳幼児・未就学児	22	40.9	50.0	27.3	31.8	22.7	22.7	22.7	9.1	22.7	13.6	13.6	4.5
	小学生	15	60.0	46.7	40.0	60.0	26.7	40.0	40.0	33.3	26.7	6.7	26.7	0.0
	中学生以上	124	47.6	37.1	34.7	31.5	25.0	21.0	20.2	19.4	20.2	16.1	9.7	3.2
	首都圏在住者	200	45.5	33.5	28.0	31.0	21.5	19.5	21.5	23.5	18.5	15.5	8.5	3.0
	乳幼児・未就学児	11	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	27.3	36.4	27.3	18.2	0.0	0.0
	小学生	13	38.5	53.8	23.1	38.5	38.5	30.8	30.8	38.5	30.8	23.1	7.7	0.0
	中学生以上	122	50.8	31.1	30.3	32.0	21.3	17.2	19.7	22.1	16.4	12.3	9.0	4.1

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所

■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q18. あなたが福島県いわき市の食品(農作物)に対する風評被害に対して思うことやご意見について、どのようなことでも結構ですので、ご自由に、できるだけ詳しくお知らせください。

## 福島県いわき市在住者

※回答の一部抜粋

- 放射線に関する知識がない人が危ないと騒いでいるのは気に食わないが、今の放射線に関する文献が覆らないとも限らず非常に難しい問題だと思う。また、国や東京電力が発信する情報も本当に正確な情報なのかが気になる。(30歳 男性)
- 震災後十数年経った今でも風評被害が払拭されていません。今後も、検査をして安全性をアピールし認知度を上げなくてはならないと思います。しかしながら、最近では汚染水の海洋放出など追い打ちをかけるようなニュースもあります。海洋放出にしても、国、県、市と連携して安全性をもっとアピールする事が大事です。生産者さんが報われる体制を構築して頂きたいと思います。(45歳 男性)
- 当初は分からないことだらけでいわき市の食品を体内に入れることが不安でしたが、きちんと正しい情報を学ぶことによって、不安はなくなると思います。地産地消のものが本来体にいいと思うので、安心なものならその方が健康であると思っています。(45歳 女性)
- 未だに風評被害がある事は、生産者にとって悲しい事。安全でおいしいものだと言うことを分かって欲しい。(62歳 女性)

## 福島県いわき市以外在住者

※回答の一部抜粋

- 会津地方の産物は茨城や宮城と比較しても線量が低いことがあるにも関わらず同じ福島県産というだけで敬遠されていると聞くので周知徹底した方がいいと思います(33歳 男性)
- これからも検査をして、安全性をアピールして欲しい。少しずつでもいいので風評被害が無くなってほしい。(39歳 男性)
- 福島県産が逆に1番厳しい検査で安全である旨を周知しないといけない。知られていないものはいくらよいことをしていても知られていないと同じこと(46歳 男性)
- 同じ福島県に住んでいる身として、まだ風評被害があるとしたら残念に思います。全国各地で物産展が行われ、いわき市の食品の良さが広まると良いと思います。(47歳 女性)
- 気にしている人に、気にするなとは言えないので、正しい知識をメディアを通して、知らせていくしかないと思う。(66歳 女性)

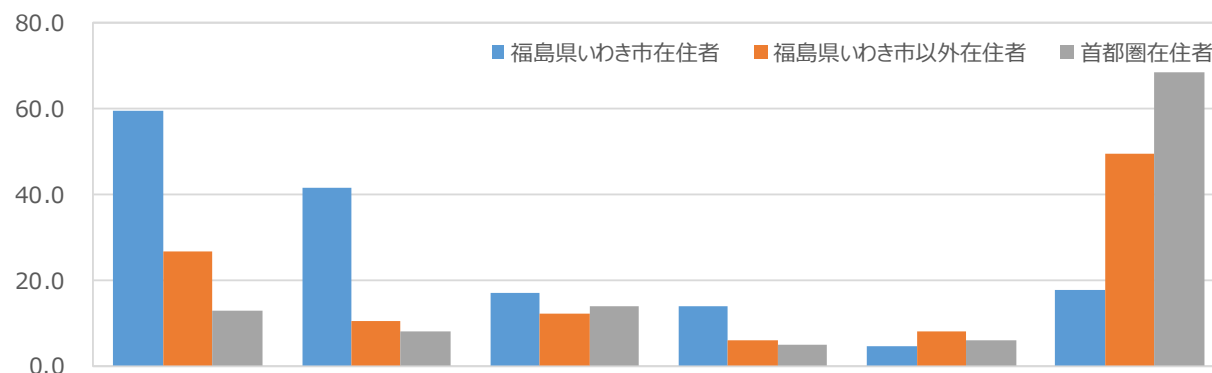
## 首都圏在住者

※回答の一部抜粋

- 理不尽ではあるが、ある程度の風評被害は仕方ないと思う。しかしながら、地道に安全性を確保しているということをPRしていれば理解する人間も必ずいるので地道に続けてほしい。(31歳 男性)
- 他県以上に検査をしている福島産の食品はむしろ安心なくらいだと考えている。風評被害にめげずに頑張ってもらいたい。(38歳 男性)
- 風評被害があることを残念に思ったり、申し訳ない気持ちもあるが、放射性物質についての恐怖感がありなかなか自分も行動できない(21歳 女性)
- なかなか風評被害が収まるまで時間はかかると思うけど、地道に続けていけばなくなると思う。福島産の食品は鮮度が良く美味しいからその美味しさと安全性をアピールして頑張ってもらいたい(31歳 女性)
- 被爆するかどうか心配ではあるけど、きちんと知識を得て正しい情報を得て理解出来れば産地がどこでも安心して購入すると思います(46歳 女性)

Q19. 「いわきといえばこれ！」という農産物は何ですか。あなたのお気持ちにあてはまるものをすべてお知らせください。（複数選択可）

- いわき市在住者は「トマト」が59.5%で最も高く、次いで「梨」が41.5%で続く。また全体と比べると、「ネギ」が14.0%と5ポイント以上高い。
- 福島県いわき市以外在住者と、首都圏在住者も「トマト」が最も高い数値だが、「わからない」と回答した人が全体と比べて多く、そもそも“いわきといえば”で思い浮かぶ農産物がないといった結果となる。



単位：％		N 数	ト マ ト	梨	い ち ご	ネ ギ	そ の 他	わ か ら ない
全体		600	33.0	20.0	14.3	8.3	6.2	45.2
居住地別	福島県いわき市在住者	200	59.5	41.5	17.0	14.0	4.5	17.5
	福島県いわき市以外在住者	200	26.5	10.5	12.0	6.0	8.0	49.5
	首都圏在住者	200	13.0	8.0	14.0	5.0	6.0	68.5

■色=全体比で+10ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で+5ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で-5ポイント以上乖離箇所    ■色=全体比で-10ポイント以上乖離箇所

Q20. あなたが前問でお選びになったいわき産農産物について、どのようなイメージお持ちでしょうか。また、その農産物に対するご意見等がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にできるだけ詳しくお知らせください。

※回答の一部抜粋

## トマト

- みずみずしい (57歳男性)
- 品質が良い (22歳男性)
- トマトランドがあるように、おみやげのひとつになっている。 (62歳男性)
- ハウス栽培が多いように思うので、あまり気にならない。 (58歳男性)
- 温室栽培が多数を占めていると思うので心配していない。 (64歳男性)
- 色や味や見た目も問題ないと思う。 (57歳男性)
- CMでTOKIOがよく宣伝してくれている。 (29歳女性)
- いわき産のトマトと聞くと安心感を感じてつい購入したくなる。いわきは気候が温暖なのでトマト栽培には本当に向いた地域だと感じる。 (36歳女性)

## ネギ

- 長くて大きい (35歳男性)
- 近所でよく見かける (47歳男性)
- 冬になると畑でよく見る (53歳男性)
- いわきのねぎは甘いと評判良く聞くので。 (29歳女性)
- 小学校の時に特産物として教わった記憶がある。 (46歳女性)

## その他

- 以前東京に住んでいた際に、福島県産のきゅうりがスーパーに出回っていて嬉しく感じ、購入した経験がある。 (36歳 女性)
- ゴールドしいたけが有名で美味しい 桃は形も良く甘みもたっぷりで美味しい (52歳 女性)

## いちご

- 安心安全 (55歳男性)
- 温室栽培が多数を占めていると思うので心配していない。 (64歳男性)
- 市内でもいちご狩りの経験が何度かあり県外と比べても、美味しいところが多いと感じています。 (30歳男性)
- 味も見た目も良いです。 (57歳男性)
- 粒もしっかりしていて甘くて美味しい (52歳女性)
- いちご狩りも出来て美味しいです (54歳女性)
- イチゴを育てる環境にできている (34歳女性)

## 梨

- 甘くて美味しい (35歳男性)
- 毎年楽しみにしている (42歳男性)
- 色や味や見た目も問題ないと思う。 (57歳男性)
- みずみずしくとても美味しいと思います。 (47歳男性)
- 酸味の少ない甘い梨 (53歳男性)
- いわきの梨は地元では知名度もあるが、いわき市を除く地域の方はあまり知らないと思う。また現在は梨農家の方が減っている。 (36歳女性)
- 子どもの頃からシーズンになると食べていた。最近では地元農家さんが減ったのか、県外産がほとんど。 (53歳女性)

Q20. あなたが前問でお選びになったいわき産農産物について、どのようなイメージお持ちでしょうか。また、その農産物に対するご意見等がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にできるだけ詳しくお知らせください。

※回答の一部抜粋

## トマト

- 四倉のトマト、カゴメのトマト（53歳男性）
- いわきのトマトは美味です。（64歳男性）
- 新鮮でおいしいと思う（69歳男性）
- 色々な種類のトマトが栽培されてるイメージ（48歳男性）
- たくさんの品種があってそれぞれ美味しい（61歳女性）
- 福島県内でも暖かい気候なので、美味しいと、思う（44歳女性）
- 力を入れて生産している。（68歳女性）
- テーマパークなどもあると聞いている。ミニトマトは色んな種類があり、子どもにも人気があるようでホッとする。（55歳女性）

## ネギ

- 会津地方でもいわきのネギは流通している（54歳男性）
- 昔はネギの指定産地だった（53歳男性）
- 千葉 茨城と連綿の続く生産適地（65歳男性）
- 好きなので積極的に食べたい（69歳男性）
- 砂地で良いものを作っている。（68歳女性）

## その他

- いわき産の農産物に対するイメージが原発問題以前から元々ありませんでした。いわきで食といえば、海産物と大きなシュークリームイメージ。（女性42歳）
- 風評被害が減ってきたのに、また污水放出によってまた大変だなと思います（女性53歳）

## いちご

- 温暖な地域なので、甘いイチゴができると思う。（67歳男性）
- 温暖な気候でストレスなく育っていそう（50歳男性）
- 温暖な気候で育てられた（65歳男性）
- 気候や地味が栽培にあっていると思う（69歳男性）
- 甘くて美味しい（35歳女性）
- 有名な会社がある（28歳女性）
- 食べ放題のイベントやスイーツの開発が盛んに行われていて活気がある。（55歳女性）

## 梨

- 美味しい（55歳男性）
- 生産量が多かったイメージ（53歳男性）
- 囲いなしが美味しい（49歳男性）
- 従来からの甘さ、美味しさ（67歳男性）
- 甘くて美味しい（35歳女性）
- お土産にいい（45歳女性）
- いわき市に住んでいる知人から頂いた梨がとてもおいしかったです。（38歳女性）
- テレビで情報を見たことがある（48歳女性）

Q20. あなたが前問でお選びになったいわき産農産物について、どのようなイメージお持ちでしょうか。また、その農産物に対するご意見等がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にできるだけ詳しくお知らせください。

※回答の一部抜粋

## トマト

- よくスーパーで見るとような気がする（60歳男性）
- 新鮮で美味しい（59歳男性）
- 美味しく甘さがあり、昔ながらのトマトの味がする。（57歳男性）
- なんとなくだが、スーパーで段ボールに入った野菜が売られている光景で、漠然といわきのトマトという印象があった。（48歳女性）
- 甘くておいしいイメージです。（35歳女性）
- CMで見たことがある（38歳女性）
- 品質が高くとても美味しいというイメージを持っています。（47歳女性）

## ネギ

- 新鮮で美味しい（59歳男性）
- 特に否定的な感情はなく、お値段が手頃であれば、普通に購入したいです。（62歳男性）
- 柔らかくて、美味しいイメージです。（35歳女性）
- 深谷ネギに続いて2番目にも美味しい（48歳女性）

## その他

- ムラサキウニが有名（49歳 男性）
- 福島県産の米は東北でも指折りの生産量。米所故に酒も美味い。（60歳 男性）

## いちご

- 新鮮で美味しい（59歳男性）
- ハウスで作った大粒のイチゴを食べた事がある。甘くて美味だった。（60歳男性）
- ブランドが確立されている（39歳男性）
- 甘酸っぱくておいしい（49歳男性）
- 品質が良い（42歳女性）
- 福島産のいちごが有名だから（31歳女性）
- 甘くておいしいイメージです。（35歳女性）
- 美味しくて価格もリーズナブル（57歳女性）

## 梨

- 新鮮で美味しい（59歳男性）
- 福島は梨の産地としては日本一。（60歳男性）
- 安心安全であるということを目に続けていてほしい（52歳男性）
- みずみずしい（54歳女性）
- みずみずしいイメージです。（35歳女性）
- 甘くて美味しい。関東で時期が終わっても、福島の梨のシーズンが始まるので食べられる期間が長くて嬉しい。（60歳女性）
- 大きくてビッグサイズ（48歳女性）